

此限ニ在ラス(同上ヲ以テ但書追加)

第十三條 特許法第六條ノ規定ニ依リ代理人ヲ定メタルトキハ其旨ヲ届出ツヘシ

出願ノ際届出テタル前項代理人ノ代理權ハ別段ノ明記ナキトキハ特許後尙ホ存續スルモノト推定ス(同上ヲ以テ本項追加)

第十四條 特許法第七條ノ規定ニ依リ代理人ノ改任ヲ命シタルトキハ特許局長ハ其旨ヲ代理人ニ通知スヘシ

第十五條 特許局長又ハ審判長ハ職權ヲ以テ又ハ當事者ノ請求ニ因リ本則ニ定メタル期間又ハ特許法若ハ本則ノ規定ニ依リ特許局長又ハ審判長ノ定メタル期日若クハ期間ヲ變更スルコトヲ得但相手方其ノ他ノ關係人アル事件ノ期日若クハ期間變更ノ請求ニ對シテハ當事者合意ノ申立ニ因リ又ハ顯著ナル理由アリト認ムル場合ノ外之ヲ許可セス(同上ヲ以テ改正)

第十五條ノ二 特許ニ關スル出願、請求其他ノ手續ニ關シ特許局長又ハ審判長

ノ命ニ依リ差出スヘキ圖面ノ調製ヲ特許局ニ請求シ成規ノ手数料ヲ納付シタルモノニ付テハ其手数料納付ヨリ特許局ニ於テ圖面ノ發送ヲ爲ス迄ノ期間ハ特許局長又ハ審判長ノ指定シタル期間ニ之ヲ算入セス(同上ヲ以テ追加)

第十六條 特許局ニ差出シタル雛形、見本又ハ證據物件ノ選付ヲ受ケントスル者ハ其差出ノ際豫メ其旨ヲ申出ツヘシ(同上ヲ以テ全條改正)

前項ノ申出ヲ爲シタル者ハ事件確定ノ日ヨリ六十日以内ニ其受取ノ手續ヲ爲スヘシ但雛形又ハ見本ニシテ特許局長ニ於テ必要ト認ムルモノハ之ヲ選付セス

差出人前項ノ手續ヲ怠ルトキハ特許局長ハ適宜之ヲ處分スヘシ

第十七條 數人共同シテ出願、請求其他ノ手續ヲ爲ストキ又ハ特許ヲ共有スルトキハ代表者一人ヲ選定シテ其旨ヲ届出テ又ハ之ヲ書類ニ記載スヘシ其届出又ハ記載ナキトキハ各人互ニ代表スルモノト看做ス(同上)

前項ノ代表者ハ處分行爲ヲ除クノ外特許局ニ對シ全權ヲ有スルモノト看做

第二類 特許法施行細則

ス

第十八條 特許法ニ依リ特許局ニ於テ爲スヘキ書類ノ送付ニシテ書留郵便ニ依ルモノハ配達證明郵便ヲ以テ之ヲ爲スヘシ(同上)

第十九條 特許局ノ使丁ヲ以テ書類ノ送付ヲ爲ストキハ使丁ハ其書類ノ封皮ニ送付ノ日時ヲ記載シテ之ニ捺印スヘシ

書類ノ送付ヲ受ケタル者ハ其受領ノ日時ヲ記載シタル受取證ヲ使丁ニ交付スヘシ

第十九條ノ二 第十三條ノ届出ヲ怠リタル者ニ對スル送付ハ郵便ニ付シタル日ヲ以テ完了シタルモノト看做ス(同上ヲ以テ追加)

第二十條 住所又ハ居所ノ不分明其他ノ事由ニ因リテ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ特許局長又ハ審判長ハ官報ヲ以テ其事由ヲ公告スヘシ此場合ニ於テハ官報掲載ノ日ヨリ起算シテ二十日ヲ經過シタルトキハ其末日ニ於テ書類ノ送付アリタルモノト看做ス

第二十一條 (同上ヲ以テ削除)

第二十二條 特許ニ關スル出願、請求、届出等ヲ爲シタル者、特許證主又ハ其代理人若クハ代表者カ其氏名、住所若クハ印章ヲ變更シタルトキ又ハ其代理人若クハ代表者ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其旨ヲ特許局ニ届出ツヘシ(同上ヲ以テ全條改正)

氏名又ハ印章變更ノ届書ニハ證明書ヲ添附スヘシ

第二十三條 特許法第十五條第一項ノ規定ニ依ル届書ニハ説明書及ヒ圖面ヲ添附スヘシ(同上ヲ以テ第二項削除)

第二十四條 何人ト雖モ其利害關係ヲ説明スルトキハ特許ニ關スル事項ノ證明、書類、雛形若クハ見本ノ閱覽又ハ特許證複本ノ下付ヲ請求スルコトヲ得但特許局長ニ於テ秘密ヲ要スルト認ムルモノニ付テハ此限ニ在ラス(同上ヲ以テ改正)

第二章 出願

第二類 特許法施行細則

第二十五條 特許法第十四條ノ規定ニ依ル特許願書ニハ最初出願ノ當時差出シタル願書、明細書及ヒ圖面ノ謄本ニシテ其出願ヲ爲シタル國ノ政府ニ於テ認證シタルモノ又ハ其出願ヲ爲シタル國ノ政府ニ於テ發行シタル公報若クハ特許證ニシテ其出願ノ年月日、發明ノ明細書及ヒ圖面ヲ掲載シタルモノヲ添付スヘシ(同上)

第二十六條 特許法第十五條第二項ノ規定ニ依ル特許願書ニハ博覽會又ハ共進會ノ物品受領證ヲ添付スヘシ

特許法第十五條第三項ノ規定ニ依ル特許願書ニハ萬國博覽會ヲ開設シタル國ニ於テ特許出願ノ期間ヲ與ヘタル證明書ヲ添付スヘシ

第二十六條ノ二 特許法第二十六條ノ規定ニ依ル特許證ノ改訂又ハ分割ノ願書ニハ特許證ヲ添付スヘシ(同上ヲ以テ追加)

第六十七條ノ三第一項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ出願ニ之ヲ準用ス

第二十七條 特許ノ出願アリタルトキハ之ニ番號ヲ附シ帳簿ニ其番號、發明ノ名稱、出願人及ヒ代理人ノ氏名並ニ願書差出ノ年月日等ヲ記載スヘシ(同上ヲ以テ全條改正)

前項ノ願書ヲ受理シタルトキハ其番號ヲ出願人ニ通知スヘシ

第二十七條ノ二 特許以前其出願ノ發明ニ關スル權利ヲ承繼シタル者ハ願書ノ名義變更ヲ特許局ニ請求スルコトヲ得(同上ヲ以テ追加)

前項ニ因リ願書ノ名義變更アリタルトキハ其出願ニ關シ差出シタル請求書其他ノ書類ノ名義モ變更アリタルモノト看做ス

第二十八條 明細書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ(同上ヲ以テ全條改正)

- 一 發明ノ名稱
- 二 發明ノ性質及ヒ目的ノ要領
- 三 圖面ノ略解
- 四 發明ノ詳細ナル説明
- 五 特許ノ請求範圍

第二類 特許法施行細則

他ノ特許發明ヲ利用シテ爲シタル發明ニ付テノ出願ナルトキハ其發明ト原發明トノ關係ヲ發明ノ詳細ナル説明中ニ明記スヘシ

第二十九條 特許ノ請求範圍ハ發明ノ要部ニ限り之ヲ記載スヘシ

第三十條 圖面ニハ發明ノ説明ニ必要ナル部分ヲ示シ特許發明ヲ利用シテ爲シタル發明ナルトキハ其發明ト原特許發明トノ關係ヲモ示スヘシ

第三十一條 雛形及ヒ見本ハ堅牢ナル材料ヲ用井曲尺一尺立方以内ニ於テ之ヲ作ルヘシ但此制限ニ從ヒ雛キトキハ此限ニ在ラス

製品ノ原料カ發明ノ要部ヲ爲ストキハ雛形及ヒ見本ハ其原料ヲ用井之ヲ作ルヘシ

物質ノ發明ニ付キ見本ヲ提出スルトキハ試驗用ニ供スルニ足ル分量及ヒ其成分ヲ差出スヘシ

第三十二條 雛形又ハ見本カ破損又ハ變化シ易キモノナルトキハ差出人ハ相當ノ手當ヲ爲シテ之ヲ差出スヘシ

第三十三條 雛形又ハ見本ノ滅失、毀損ニ付テハ特許局ハ其實ニ任セス

第三十四條 特許出願ヲ分割セントスル者ハ其分割部分ニ對シ新ナル出願ヲ爲シ同時ニ前出願ヲ訂正スヘシ(同上)

前項ノ場合ニ於ケル新ナル出願ハ最初出願ノ日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

### 第三章 審査

第三十五條 (同上ヲ以テ削除)

第三十六條 (同上)

第三十七條 審査官カ發明ノ審査ニ關シ出願人ナシテ其試驗ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ其旨ヲ特許局長ニ報告スヘシ此場合ニ於テハ特許局長ハ出願人ナシテ試驗ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條 査定書ニハ左ノ事項ヲ記載シ審査官之ニ署名スヘシ

一 願書ノ番號

第二類 特許法施行細則

- 二 發明ノ名稱
- 三 出願人ノ氏名
- 四 (同上ヲ以テ削除)
- 五 査定ノ主文及ヒ理由
- 六 査定ノ年月日

第三十九條 再審査査定書ニハ前條第一號、第二號、第五號及ヒ第六號ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ審査官之ニ署名スヘシ

- 一 再審査請求人及ヒ關係人ノ氏名
- 二 不服理由ノ要領

第四十條 左ノ場合ニ於テハ發明牒觸ノ査定ヲ爲スヘカラス(同上ヲ以テ改正)

- 一 特許ヲ與フヘカラサル他ノ理由ノ存スルトキ
- 二 出願人ニ於テ其發明ノ完成カ牒觸スヘキ發明ノ完成後ナルコトヲ自認シタルトキ

三 審査官ニ於テ其發明ノ完成カ明カニ牒觸スヘキ發明ノ完成後ナルコトヲ認ムルトキ

第四十一條 牒觸査定書又ハ發明完成ノ前後ニ關スル査定書ニハ第三十八條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シ審査官之ニ署名スヘシ

- 一 牒觸番號
- 二 牒觸スヘキ發明ノ願書又ハ特許ノ番號
- 三 牒觸スヘキ發明ノ名稱
- 四 牒觸スヘキ發明ノ出願人又ハ特許證主ノ氏名住所(同上ヲ以テ住所ヲ加フ)
- 五 牒觸スヘキ發明ノ要領又ハ關係人陳述ノ要領

第四十二條 發明牒觸ノ査定確定シタルトキハ特許局長ハ之ヲ關係人ニ通知シ三十日以内ニ其發明ニ關スル始末書ヲ差出サシムヘシ(同上ヲ以テ改正)

第四十三條 始末書ニハ牒觸番號及ヒ發明ノ完成ニ關スル事實ノ詳細ナル説明

第二類 特許法施行細則

ヲ記載スヘシ

第四十四條 特許局長カ始末書ヲ受理シタルトキハ其副本ヲ相手方ニ送付スヘシ  
審査官カ答辯ヲ爲サシムル必要アリト認ムルトキハ其旨ヲ特許局長ニ報告ス  
ヘシ此場合ニ於テハ特許局長ハ相當ノ期間ヲ定メ答辯書ヲ差出サシムルコト  
ヲ得

前二項ノ規定ハ關係人カ始末書又ハ答辯書ヲ訂正又ハ追加シタル場合ニ之ヲ  
準用ス

第四十五條 始末書又ハ答辯書ニハ之ニ記載シタル事實ノ證明ニ必要ナル證據  
物件ヲ添附スヘシ

第四十六條 特許證主カ指定ノ期間内ニ始末書又ハ答辯書ヲ差出ササルトキハ  
審査官ハ直ニ査定ヲ爲スコトヲ得(同上ヲ以テ條中改正)

第四十七條 牴觸ノ原因カ消滅シタルトキハ特許局長ハ其旨ヲ關係人ニ通知ス  
ヘシ

第四章 審判

第四十八條 審判請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 請求人及ヒ被請求人ノ氏名、住所
- 二 審判事件ノ表示
- 三 請求ノ要旨及ヒ理由

第四十九條 答辯書又ハ辯駁書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 審判番號
- 二 請求人及ヒ被請求人ノ氏名、住所
- 三 審判事件ノ表示
- 四 答辯又ハ辯駁ノ要旨及ヒ理由

第五十條 審判ノ請求アリタルトキハ之ニ番號ニ附シ帳簿ニ其番號、審判事件、  
當事者及ヒ代理人ノ氏名並ニ請求書差出ノ年月日等ヲ記載スヘシ(同上ヲ以  
テ全條改正)

第二類 特許法施行細則

前項ノ請求書ヲ受理シタルトキハ其番號ヲ當事者ニ通知スヘシ

第五十條ノ二 多數人ノ所有ニ係ル一特許ニ付キ特許證主ニ對シ審判ヲ請求セんとスルトキハ其各所有者ヲ以テ被請求人ト爲スヘシ(同上ヲ以テ追加)

第五十條ノ三 特許ニ付キ審判ノ請求アリタル後其特許カ他人ニ移轉スルモ審判ニ影響ヲ及ホスコトナシ(同上)

前項ノ場合ニ於テ其移轉カ全部ナルトキハ承繼人ハ相手方ノ同意ヲ得テ被承繼人ニ代ハリ當事者ト爲リ其移轉カ一部ナルトキハ承繼人ハ相手方ノ同意ヲ得テ被承繼人ト共ニ當事者ト爲リ以後ノ手續ヲ續行スルコトヲ得但承繼カ相續ニ原因スルトキハ其承繼人ハ當然當事者ト爲ルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ其承繼及ヒ相手方ノ同意ヲ證スル書面ヲ添へ其旨ヲ審判長ニ届出ツヘシ但前項但書ノ場合ニ於テハ相手方ノ同意ヲ證スル書面ノ添附ヲ要セス

第五十條ノ四 審判長必要ト認ムルトキハ關係人ニ對シ訊問書ヲ發シ相當ノ期

間内ニ答辯書ヲ差出サシムルコトヲ得(同上)

審判長カ前項ノ答辯書ヲ受理シタルトキハ其副本ヲ相手方ニ送付スヘシ關係人カ任意ニ差出シタル答辯書、辯駁書其他ノ申立書ニシテ審判長カ必要ト認メタル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ相手方ニ對シ答辯書又ハ意見書ノ提出ヲ命スルコトヲ得  
第五十條ノ五 第四十五條ノ規定ハ審判請求書、答辯書、辯駁書、意見書其他ノ申立書及ヒ其訂正又ハ追加ニ之ヲ準用ス(同上)

第五十條ノ六 他人ノ間ニ成立セル審判ノ結果ニ因リ權利上利害關係ヲ有スル者ハ其審判ノ終結スル迄其一方ヲ補助スル爲其審判ニ參加センコトヲ特許局ニ請求スルコトヲ得(同上)

參加人ハ其參加ノ時ニ於ケル審判ノ程度ヲ妨ケサル限ハ其主タル請求人又ハ被請求人ノ爲ニ攻撃又ハ防禦ノ方法ヲ施用シ其他審判ニ關スル總テノ行爲ヲ爲スコトヲ得但其補助スル當事者ノ行爲ト牴觸スルモノハ其效ナシ

第二類 特許法施行細則

第五十條ノ七 參加ノ請求ヲ爲サントスル者ハ當事者、審判事件、利害關係及ヒ參加ノ申立ヲ記載シタル請求書ヲ審判長ニ差出スヘシ(同上)

審判長前項ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ヲ當事者ニ送付スヘシ

第五十條ノ八 請求人又ハ被請求人參加ニ付キ異議ヲ述フルトキハ當事者及ヒ

參加請求人ヲ審訊シタル後參加ノ許否ヲ決ス(同上)

第五十條ノ九 特許局ハ當事者ノ雙方又ハ一方ノ同一ナル審判ニ付キ其審理者

ハ審決ヲ併合シ又ハ之ヲ分離スルコトヲ得(同上)

第五十一條 審判ノ請求人カ其請求ヲ取消シタルトキハ特許局長ハ其旨ヲ相手

方ニ通知スヘシ

第五十二條 口頭審判ヲ爲ストキハ審判長ハ期日ヲ定メ之ヲ當事者雙方ニ通知

スヘシ

第五十三條 口頭審判ニ於テハ日本語ヲ用ユヘシ但日本語ニ通セサル者ハ通事

ヲ用ユルコトヲ得

第五十四條 口頭審判ニ於テハ調書ヲ作り審判長及ヒ之ヲ作りタル官吏署名捺

印スヘシ

第五十五條 審決アリタルトキハ特許局長ハ其審決書ノ謄本ヲ當事者雙方ニ送

付スヘシ

第五十六條 審決書ニハ左ノ事項ヲ記載シ審判官之ニ署名スヘシ(同上ヲ以テ

條中改正)

一 審判番號

二 當事者ノ氏名、住所

三 審判事件ノ表示

四 當事者陳述ノ要領

五 審決ノ主文及ヒ理由

六 審決ノ年月日

第五十七條 審判官カ査定ヲ不當ナリト審決シタルトキハ特許局長ハ更ニ審査

第二類 特許法施行細則



ヲ爲サシムヘシ

第五十八條 審判ニ關スル費用ノ負擔又ハ其費用額ノ決定ヲ受ケントスル者ハ申請書ヲ作り費用計算書其他必要ナル書類ヲ添附シテ之ヲ審判長ニ差出スヘシ

審判長ハ必要ト認ムルトキハ相手方ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第五十九條 前條ノ決定アリタルトキハ特許局長ハ其決定書ノ謄本ヲ當事者雙方ニ送付スヘシ(同上)

第五章 特許

第六十條 審査官カ特許ヲ與フヘシト査定シタルトキハ特許局長ハ特許原簿ニ登録シ且其査定書ヲ出願人ニ送付スヘシ

第六十一條 特許法第十七條第一項ニ定メタル査定アリタルトキハ特許局長ハ其旨ヲ出願人ニ通知シ相當ノ期間ヲ定メテ原特許證主ノ承諾書ヲ差出サシムヘシ

出願人カ原特許證主ノ承諾書ヲ差出シタルトキハ特許局長ハ特許原簿ニ登録シ且査定書ヲ出願人ニ送付スヘシ

原特許證主カ承諾ヲ與ヘサル場合ニ於テ特許局長カ出願人ニ特許ヲ與ヘタルトキハ特許原簿ニ登録シ且査定書ヲ出願人ニ送付スヘシ此場合ニ於テハ特許局長ハ其旨ヲ原特許證主ニ通知スヘシ

第六十二條 原特許證主ニ支拂フヘキ報酬ノ決定ヲ受ケントスル者ハ申請書ヲ作り報酬ノ金額及ヒ其計算ニ關スル書類ヲ添附シテ之ヲ特許局ニ差出スヘシ

前項ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ副本ヲ相手方ニ送付シ相當ノ期間ヲ定メテ其意見ヲ聽クコトヲ得

第六十三條 特許局長カ報酬ノ決定ヲ爲シタルトキハ其決定書ヲ當事者雙方ニ送付スヘシ

第六十四條 審査官カ特許證ノ改訂又ハ分割ヲ許可スヘキモノト査定シタルトキハ  
第二類 特許法施行細則  
六百四十七

キハ特許局長ハ其旨ヲ特許原簿ニ登録シ且其査定書ヲ出願人ニ送付シ改訂特許證又ハ分割特許證ヲ下付スヘシ(同上ヲ以テ改正)

第六十五條 特許證ハ第六十七條ノ三第二項ニ依ル下付及ヒ再下付ノ場合ヲ除クノ外第九號乃至第十三號ノ書式ニ依リ之ヲ作ルヘシ(同上)

第六十六條 相續ニ因リテ特許ヲ取得シタル者ハ其證明書ヲ特許局ニ差出シ特許證ノ書換ヲ申請スヘシ

第六十七條 特許法第四條第二項ニ定メタル登録ヲ受ケントスル者ハ請求書ヲ作り登録原因ヲ證スル書面及ヒ特許證ヲ添附シ之ヲ特許局ニ差出スヘシ但特許ノ共有者又ハ制限附讓受人ニシテ特許證ヲ所持セサル者ノ承繼人ハ其被承繼人ノ下付ヲ受ケタル特許證複本ヲ差出シテ特許證ノ差出ニ代ユルコトヲ得(同上)

前項ノ場合ニ於テ登録原因ヲ證スル書面ノ還付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ外登録原因ヲ證スル書面ノ贈本ニシテ特許證ヲ又ハ請求人ノ署名捺印シテ原本

ト相違ナキコトヲ認證シタルモノ一通ヲ差出スヘシ

第二項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ特許原簿ニ登録シタル後登録事項ヲ特許證又ハ特許證複本ニ記載シ之ヲ請求人ニ還付スヘシ

第六十七條ノ二 特許以前其出願ノ發明ニ關スル權利ヲ承繼シタル者ニシテ其特許以前願書ノ名義變更ノ請求ヲ爲ササリシ者又ハ相續、讓渡及ヒ共有以外ノ原因ニ因リ特許ヲ承繼シタル者ハ特許證ノ名義變更ヲ特許局ニ請求スルコトヲ得(同上ヲ以テ追加)

前項ノ請求ヲ爲サントスル者ハ請求書ヲ作り承繼ヲ證スル書面及ヒ特許證ヲ添附シ之ヲ特許局ニ差出スヘシ但特許以前其出願ノ發明ニ關スル權利ヲ承繼シタル者ノ差出スヘキ承繼ヲ證スル書面ハ確定日附アル私署證書又ハ公正證書ヲ用ユヘシ

前條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本條ノ請求ニ之ヲ準用ス

第六十七條ノ三 前三條ノ場合ニ於テ特許證ヲ差出スコト能ハサル場合ニ於テ

第二類 特許法施行細則

ハ其事由ヲ證明シテ特許證ノ書換、登録又ハ特許證ノ名義變更ノ請求ヲ爲ス  
コトヲ得(同上)

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由アリト認ムルトキハ特許局長ハ新  
ニ特許證ヲ調製シテ之ヲ請求人ニ下付スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊特許證ハ無効トス此場合ニ於テハ特許局長ハ  
其旨ヲ官報及ヒ特許公報ヲ以テ公告スヘシ

第六十七條ノ四 裁判所ニ於テ特許ニ對スル差押、假差押又ハ假處分アリタル  
トキハ當事者ハ特許原簿ニ其登録ヲ請求スルコトヲ得其登録後變更若クハ消  
滅アリタル場合亦同シ(同上)

前項ノ請求ヲ爲サントスル者ハ請求書ニ登録原因ヲ證スル書面及ヒ其謄本ニ  
シテ請求人ノ署名捺印シテ原本ト相違ナキコトヲ認證シタルモノヲ添附シテ  
差出スヘシ

前項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ特許原簿ニ登録シ登録原因ヲ證ス

ル書面ニ其旨ヲ記入シ之ヲ請求人ニ還付スヘシ

第六十八條 特許法第十六條ノ規定ニ依リ特許ニ制限ヲ附シ若クハ特許ヲ與ヘ  
ス又ハ既ニ與ヘタル特許ヲ制限シ又ハ取消ストキハ其理由ヲ出願人又ハ特許

證主ニ通知スヘシ

第六十九條 特許原簿ニハ左ノ事項ヲ登録スヘシ(同上ヲ以テ條中改正)

- 一 特許ノ番號
- 二 發明ノ名稱
- 三 特許證主ノ氏名、住所外國人又ハ外國法人ニ在リテハ並ニ其國籍
- 四 特許ノ讓渡ニ付テハ其事由、制限ヲ附シタルトキハ其制限
- 五 特許ノ共有ニ付テハ其事由、持分ノ定アルトキハ各共有者ノ持分
- 六 特許ノ質入ニ付テハ債權額、其利息、辨濟期、質權ノ順位及ヒ質權設定  
ノ年月日
- 七 特許證ノ名義變更ニ付テハ其事由

第二類 特許法施行細則

- 八 特許ノ差押、假差押、假處分又ハ其變更若クハ消滅ニ付テハ其事由
- 九 第十七條第一項ニ依リ届出テ又ハ書類ニ記載シタル特許證主ノ代表者
- 十 帝國內ニ住所ヲ有セサル特許證主ノ代理人ノ氏名、住所
- 十一 特許ノ制限ニ付テハ其事由及ヒ制限ノ範圍
- 十二 利用發明特許ニ付テハ原特許ノ番號、原發明ノ名稱及ヒ原特許證主ノ承諾ノ有無
- 十三 追加特許ニ付テハ原特許ノ番號、原發明ノ名稱及ヒ原特許登錄ノ年月日
- 十四 特許法第二十五條ノ規定ニ依ル特許ニ付テハ前特許登錄ノ年月日
- 十五 特許證ノ改訂又ハ分割ニ付テハ其事由
- 十六 特許ニ係ル審判ノ請求及ヒ其確定ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十七 特許ノ消滅ニ付テハ其事由及ヒ年月日

- 十八 特許證ノ再下付ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十九 特許證複本ノ下付ニ付テハ其事由、年月日及ヒ請求人ノ氏名、住所
- 二十 第六十七條ノ三第二項ニ依ル特許證ノ下付ニ付テハ其事由及ヒ年月日

二十一 登録ノ年月日

第七十條 特許原簿ニ登録シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其事項カ消滅シタルトキハ其變更又ハ消滅ノ登録ヲ爲スヘシ

第七十一條 特許無効ノ審決カ確定シタルトキ又ハ特許カ消滅シタルトキハ特許證主及ヒ特許證複本ノ所持者ハ遲滯ナク其特許證及ヒ特許證複本ヲ返納スヘシ(同上ヲ以テ改正)

第七十二條 特許料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第七十三條 特許證主カ特許料ヲ納メタルトキハ特許局長ハ領收證ヲ交付スヘシ

第二類 特許法施行細則

第七十四條 特許證方亡失又ハ毀損シタルトキハ特許證主又ハ其承繼人ハ其事  
實ヲ疏明シテ特許證ノ再下付ヲ請求スルコトヲ得(同上)

第七十四條ノ二 圖面ノ調製ヲ請求スル者ハ請求ノ際雛形、見本又ハ下圖ヲ特  
許局ニ差出スヘシ但特許局ニ存スル雛形、見本又ハ圖面ニ依リ調製スルモノ  
ニ付テハ此限ニ在ラス(同上ヲ以テ追加)

第七十四條ノ三 特許證複本第六十七條ノ三第二項又ハ第七十四條ニ依リ下付  
スル特許證ニハ第六十九條第一號乃至第三號及ヒ第六號、第十一號、第十三  
號、第十五號、第十八號、第十九號又ハ第二十號ニ規定シタル事項並ニ特許  
證ノ種類、特許年限、讓渡ニ附シタル制限アルトキハ其制限、共有者ノ持分  
ノ定メアルトキハ其持分ヲ記載シ明細書及ヒ必要ノ圖面ヲ添附シ其利用發明  
特許證ニ係ルトキハ尙原特許ノ番號、原發明ノ名稱ヲ記載シ其特許證複本ニ  
付テハ尙ホ其複本ナルコト及ヒ其番號ヲ記載スヘシ(同上)

附則

第七十五條 本則ハ特許法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書式

第一號(三十八年農商務省令第一號ヲ以テ本號中改正)

特許願

收入  
印紙

一發明ノ名稱

一發明完成ノ年月日

一發明者ノ氏名住所及ヒ職業(本項ハ出願人カ發明者ナルトキハ記載スルコ  
トヲ要セス)

私(私共)儀別紙明細書ニ記載スル物品(方法)ニ付キ特許相受度(特許法第十  
四條又ハ第十五條ニ定メタル出願ナルトキハ別紙「證明書領收證」相添)此段  
相願候也

第二類 特許法施行細則

本籍(國籍)及ヒ住所

職業

年月日 氏名印

特許局長氏名殿

第二號(同上)

利用發明特許願

收入印紙

一發明ノ名稱

一發明完成ノ年月日

一發明者ノ氏名住所及ヒ職業(本項ハ出願人カ發明者ナルトキハ記載スルコトヲ要セス)

一原特許ノ番號

一原特許證主ノ氏名

私(私共)儀別紙明細書ニ記載スル物品(方法)ニ付キ特許相受度此段相願候也

本籍(國籍)及ヒ住所

職業

年月日 氏名印

特許局長氏名殿

第三號(同上)

追加特許願

收入印紙

一發明ノ名稱

一發明完成ノ年月日

一發明者ノ氏名住所及ヒ職業(本項ハ出願人カ發明者ナルトキハ記載スルコトヲ要セス)

第二類 特許法施行細則

トヲ要セス

私(私共)儀別紙明細書ニ記載スル物品(方法)ニ付キ特許相受度此段相願候也

本籍(國籍)及ヒ住所

職業

氏 名印

年月日

特許局長氏名殿

第四號

特許證改訂願

收入  
印紙

一發明ノ名稱

一特許ノ番號

私(私共)儀別紙明細書(圖面)ノ通特許證ノ改訂相受度此段相願候也

本籍(國籍)及ヒ住所

職業

氏 名印

年月日

特許局長氏名殿

第五號

特許證分割願

收入  
印紙

一發明ノ名稱

一特許ノ番號

私(私共)儀別紙明細書(圖面)ノ通特許證分割相受度此段相願候也

本籍(國籍)及ヒ住所

職業

六百五十九

第二類 特許法施行細則

年月日

六百六十

特許局長氏名殿

氏 名印

第六號

發明品出品届

收入印紙

一發明者ノ名稱

一發明者ノ氏名

私(私共)儀別紙説明書(圖面)ニ記載スル發明品ヲ何年何月何日ヨリ何所ニ於テ政府(何府、何縣)ノ開設スル博覽會(共進會)ニ出品可致候ニ付特許法第十五條ノ規定ニ依リ此段及御届候也

本籍(國籍)及ヒ住所

年月日

氏 名印

第七號

特許局長氏名殿

登録請求書

收入印紙

一特許證主ノ氏名

一特許ノ番號

私(私共)儀何某ヨリ前記特許(持分)ヲ讓受(買取)候ニ付登録相成度別紙契約書(遺言書)相添此段及請求候也

本籍(國籍)及ヒ住所

年月日

氏 名印

特許局長氏名殿

第八號

第二類 特許法施行細則

六百六十一



登録請求書

六百六十二

印紙

一 特許證主ノ氏名

一 特許ノ番號

私(私共)儀前記特許ヲ共有ト致候ニ付登録相成度別紙契約書相添此段及請求候也

年月日

特許局長氏名殿

第九號

第何號

特許證

本籍(國籍)及ヒ住所

共有者 氏 名印

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名

一 發明ノ名稱

前記發明ハ特許局審査官ニ於テ特許ヲ與フヘキモノト査定シタリ仍テ特許原簿ニ登錄シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

第十號

利用發明特許證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名

一 發明ノ名稱

前記發明ハ明治何年何月何日第何號特許發明ヲ利用シタルモノニシテ特許局審査官ニ於テ利用發明特許ヲ與フヘキモノト査定シシタリ仍テ特許原簿ニ登

第二類 特許法施行細則

六百六十三

録シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

第十一號

第何號

追加特許證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名

一發明ノ名稱

前記發明ハ明治何年何月何日付第何號特許發明ヲ利用シタルモノニシテ特許局審査官ニ於テ追加特許ヲ與フヘキモノト査定シタリ仍テ特許原簿ニ登録シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

第十二號

第何號(原特許ノ番號)

改訂特許證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名

一發明ノ名稱

前記發明ニ對シ特許局審査官ニ於テ明治何年何月何日付第何號特許證ノ改訂ヲ許可スヘキモノト査定シタリ仍テ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

第十三號

第何號(原特許ノ番號)ノ一、二、三、

分割特許證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名

第二類 特許法施行細則

一 發明ノ名稱

前記發明ハ明治何年何月何日付第何號特許證ノ分割ニ係ルモノニシテ特許局  
審査官ニ於テ分割ヲ許可スヘキモノト査定シタリ仍テ茲ニ本證ヲ下付スルモ  
ノ也

年月日

特許局長 氏

名印

● 意匠法

(明治三十二年三月一日)  
法律第三十七號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル意匠法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

意匠法

第一條 工業上ノ物品ニ應用スヘキ形狀、模様、色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規  
ノ意匠ヲ按出シタル者若ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ニ依リ意匠ノ登録ヲ受ケ之  
ヲ專用スルコトヲ得

第二條 左ニ掲グル意匠ハ登録ヲ受クルコトヲ得ス

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ形狀、模様ヲ有スルモノ

二 秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ

三 意匠登録出願前公ニ知ラレ又ハ公ニ用井ラレタルモノ若ハ之ト類似スル  
モノ但シ自己ノ登録意匠ト類似スルモノハ此ノ限ニアラス

第三條 意匠専用ノ年限ハ八十年トシ原簿登録ノ日ヨリ起算ス但シ類似意匠ノ  
専用年限ハ原意匠ノ有效年限ニ伴フ

第四條 意匠ノ専用ハ農商務大臣ノ定ムル類別ニ從ヒ出願人ノ指定シタル物品  
ニ限ル

第五條 他人ノ委託又ハ雇主ノ費用ヲ以テ按出シタル意匠ニ係ル登録出願ノ權  
利ハ其ノ委託者若ハ雇主ニ屬ス但シ別ニ契約アル場合ニ於テハ此ノ限ニアラ  
ス

第六條 意匠専用權ハ制限ヲ付シ若ハ付セスシテ讓渡シ若ハ共有ト爲シ又ハ質  
權ノ目的ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許局ニ請求シ其ノ登録ヲ受クル

第二類ノ意匠法

ニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス  
類似意匠ヲ所有スル者ハ其ノ類似意匠ト共ニ讓渡シ共有ト爲シ又ハ質權ノ目  
的ト爲スニ非サレハ前項ノ登録ヲ受クルコトヲ得ス

第七條 特許局ノ官吏ハ在職中意匠專用權ヲ有スルコトヲ得ス但シ相續ニ因リ  
之ヲ取得シ又ハ在職前ヨリ之ヲ有スルトキハ此ノ限ニアラス

第八條 意匠ノ登録ヲ受ケントスル者ハ一意匠毎ニ其ノ意匠ヲ應用スヘキ物品  
ヲ明記シ雛形、見本若ハ圖面ヲ添ヘ特許局長ニ出願スヘシ

特許局長ハ出願者ニ對シ雛形、見本、圖面、説明書ノ提出ヲ命スルコトヲ得  
第九條 二人以上同一又ハ相類似スル意匠ノ登録ヲ出願スル者アルトキハ出願  
ノ先ナルモノヲ登録ス其ノ同時ノ出願ニ係ルモノハ共ニ之ヲ登録セス但シ出  
願者共有ノ目的ヲ以テ連名登録ノ申出ヲ爲シタルトキ又ハ出願者一人ト爲リ  
タルトキハ此ノ限ニアラス

第十條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ意匠登録ヲ出願シタル者四箇月以内

ニ同一意匠ニ付登録ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ於テ之ヲ爲  
シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第十一條 登録ヲ受ケタル意匠ニシテ第一條第二條第五條又ハ第九條ニ違反シ  
タルモノナルトキハ其ノ登録ヲ無効トス

第十二條 登録ヲ受ケタル意匠ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ特許  
局長ニ於テ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得

- 一 意匠登録證主意匠料納付期限後六十日ヲ經過シ仍其ノ納付ヲ怠リタル  
トキ
- 二 意匠登録證主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第二十二條ニ依ル特許法第  
六條ノ代理人ヲ置カサルトキ

第十三條 意匠登録證主ハ意匠料トシテ各意匠ニ付第一年ヨリ第三年マテハ每  
年金三圓第四年ヨリ第六年マテハ毎年金五圓第七年ヨリ第十年マテハ毎年金  
七圓ヲ納ムヘシ

第二類 意匠法

類似意匠ノ登録ヲ受ケタルトキハ各類似意匠ニ付一時ニ金三圓ヲ納ムヘシ

第十四條 意匠料ハ毎年一年分ヲ登録證ノ日付ニ應當スル日ニ於テ前納スヘシ

第一年ニ係ルモノ及前條第二項ノ意匠料ハ登録査定書到達ノ日ヨリ六十日以

内ニ之ヲ納ムヘシ

前納シタル意匠料ハ之ヲ還付セス但シ一時ニ二年分以上ノ意匠料ヲ納付シタ

ル場合ニ於テハ未タ其ノ納付期限ニ到ラサルモノニ限り之ヲ還付ス

第十五條 意匠登録證主ハ其ノ意匠ヲ應用シタル物品ニ意匠登録ノ標記ヲ付ス

ヘシ

第十六條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證

又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者ハ

罰前項ニ同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定若ハ審決ニ至ラサル前特許局又ハ囑

託ヲ受ケタル裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

第十七條 他人ノ登録意匠ヲ模擬シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ模擬シタル物品

ヲ販賣シタル者ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰

金ニ處ス

他人ノ登録意匠ヲ侵害スヘキ物品ナルコトヲ知り之ヲ外國ヨリ輸入シタル者

又ハ情ヲ知リテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ罰前項ニ同シ

第十八條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之ヲ意匠登録證主ニ給付ス

第十九條 詐偽ノ所爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケタル者又ハ登録ヲ受ケサル意匠

ヲ應用シタル物品ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ

情ヲ知リテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓

以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ヲ販賣スル爲廣告、看板、引札等ニ於

第二類 意匠法

テ其ノ意匠ノ登録ヲ受ケタルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者ハ罰前項ニ同シ

第二十條 第十七條ノ犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第二十一條 意匠登録證主登録標記ヲ付スルコトヲ怠リタルトキハ其ノ登録意匠タルコトヲ知リテ其ノ權利ヲ侵害シタル者ニ對シテノミ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十三條第十五條第二十一條第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條及第五十一條ノ規定ハ意匠ニ關シテ之ヲ準用ス

附則

第二十三條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條 明治三十一年勅令第八十五號意匠條例ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

意匠條例ニ依テ受ケタル登録ハ其ノ年限間此ノ法律ニ依テ受ケタル登録ト同

一ノ效アルモノトス

意匠ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行ノ日マテニ處分ヲ終ラサルモノハ此ノ法律ニ依リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スヘシ

●意匠法施行細則

(明治三十二年六月二十日 農商務省令第十四號)

意匠法施行細則左ノ通相定ム

意匠法施行細則

第一條 意匠登録願書ハ第七條ニ定メタル類別毎ニ之ヲ作ルヘシ

意匠登録願書ニ添附スヘキ圖面ハ二通ヲ添附スヘシ (三十八年農商務省令第二號ヲ以テ本項追加)

雛形又ハ見本ヲ差出ストキハ圖面二通ヲ添附スヘシ但雛形又ハ見本ヲ貼附シ得ヘキモノナルトキハ紙面ノ上部曲尺六分下部四分左二分右一寸四分ヲ餘シ 豎曲尺九寸七分以內横六寸以內ノ面内ニ之ヲ貼附シテ差出人ニ署名捺印シ

第二類 意匠法施行細則

タルモノニ箇ヲ差出シ圖面ノ差出ヲ省略スルコトヲ得(同上)

第二條 雛形及ヒ見本ハ曲尺二尺立方以内ニ於テ之ヲ作ルヘシ但此制限ニ從ヒ難キトキハ此限ニ在ラス

第三條 圖面ニハ強靱ナル白紙若クハ覆寫布ヲ用井上部曲尺六分下部四分左二分右二寸四分ヲ餘シ堅曲尺八寸横四寸八分ノ面内ニ意匠ノ説明ニ必要ナル部分ヲ示シ意匠ノ名稱ヲ記載シ差出人ノ署名捺印スヘシ(同上ヲ以テ全條改正)

寫真ヲ以テ圖面ニ代用スルトキハ臺紙ヲ附セス前項ノ例ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第四條 (同上ヲ以テ削除)

第五條 意匠登録證ハ第八條ニ基キ特許法施行細則第六十七條ノ三第二項ニ依ル下付及ヒ再下付ノ場合ヲ除クノ外第五號又ハ第六號書式ニ依リ之ヲ作り圖面、雛形、見本又ハ寫真ヲ添附スヘシ(同上ヲ以テ改正)

第六條 意匠原簿ニハ左ノ事項ヲ登録スヘシ(同上ヲ以テ條中改正)

- 一 登録ノ番號
- 二 意匠ノ名稱
- 三 類別及ヒ物品
- 四 登録證主ノ氏名、住所外國人又ハ外國法人ニ在リテハ竝ニ其國籍
- 五 類似意匠ニ付テハ原意匠ノ登録番號及ヒ其登録ノ年月日
- 六 意匠專用權ノ讓渡ニ付テハ其事由、制限ヲ附シタルトキハ其制限
- 七 意匠專用權ノ共有ニ付テハ其事由、持分ノ定アルトキハ各共有者ノ持分
- 八 意匠專用權ノ質入ニ付テハ債權額、其利息、辨濟期、質權ノ順位及ヒ質權設定ノ年月日
- 九 登録證ノ名義變更ニ付テハ其事由
- 十 意匠專用權ノ差押、假差押、假處分又ハ其變更若クハ消滅ニ付テハ其事

第二類 意匠法施行細則

由

- 十一 第八條ニ基キ特許法施行細則第十七條第一項ニ依リ届出テ又ハ書類ニ記載シタル登録證主ノ代表者
- 十二 帝國內ニ住所ヲ有セサル登録證主ノ代理人ノ氏名住所
- 十三 意匠專用權ニ係ル審判ノ請求及ヒ其確定ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十四 意匠專用權ノ消滅ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十五 登録證ノ再下付ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十六 登録證複本ノ下付ニ付テハ其事由年月日及ヒ請求人ノ氏名住所
- 十七 第八條ニ基キ特許法施行細則第六十七條ノ三第二項ニ依ル登録證ノ下付ニ付テハ其事由及年月日
- 十八 登録ノ年月日
- 第六條ノ二 意匠登録證複本第八條ニ基キ特許法施行細則第六十七條ノ三第二項又ハ第七十四條ニ依リ下付スル意匠登録證ニハ第六條第一號乃至第四號及

七第五號、第八號、第十五號、第十六號又ハ第十七號ニ規定シタル事項並ニ意匠登録證ノ種類、意匠專用年限、讓渡ニ附シタル制限アルトキハ其制限、共有者ノ持分ノ定アルトキハ其持分ヲ記載シ圖面ヲ添附シ其意匠登録證複本ニ付テハ其複本ナルコト及ヒ其番號ヲ記載スヘシ（同上ヲ以テ追加）

第七條 出願人ハ左ノ類別ニ從ヒ意匠ヲ應用セントスル物品ヲ指定スヘシ

第一類 被服

衣、裳、外套、襯衣、帶、襟、頸卷、肩掛等

第二類 頭飾、服飾

櫛、簪、根掛、胸飾、頸飾、腕環、指環、釦鈕等

第三類 時計、附屬品

袂時計、置時計、掛時計、鎖、下ケ物等

第四類 傘、杖、鞭

第五類 携帶品

第二類 意匠法施行細則



紙入、貨幣入、名刺入、煙草入、煙管、煙管筒、手提靴等

第六類 家具、室内裝飾品

棚、簾笥、机、椅子、卓子、寢臺、額、屏風、衝立、窓掛、卓被等

第七類 敷物

段通、油團、花筵等

第八類 暖室具、附屬品

暖爐、火鉢、煙草盆、炭取、石炭入、火箸等

第九類 燈器

燭臺、手燭、行燈、燈籠、洋燈、瓦斯、電燈等

第十類 建築物ノ附屬品

障子、戸、扉、棚、欄間、欄干、引手、釘隠等

第十一類 織物及ヒ他類ニ屬セサル織物製品

絹、綿、麻、毛等各種ノ織物、服紗、手巾等

第十二類 他類ニ屬セサル編物、組物

「レース」、打紐、飾縁等

第十三類 他類ニ屬セサル漆器(假漆塗、油漆塗等モ之ニ屬ス)

第十四類 他類ニ屬セサル陶器(煉瓦、瓦等モ之ニ屬ス)

第十五類 他類ニ屬セサル玻璃

第十六類 他類ニ屬セサル七寶

第十七類 他類ニ屬セサル金屬製品

第十八類 他類ニ屬セサル石材製品

第十九類 他類ニ屬セサル木、竹、牙、角類製品

第二十類 紙及ヒ他類ニ屬セサル紙製品

紋紙、擬革紙、襖紙、壁紙、表紙、色紙、短世、紙箋、書簡筒等

第二十一類 皮革及ヒ他類ニ屬セサル皮革製品

第二十二類 冠物

第二類 意匠法施行細則

帽子、頭巾、笠等

第二十三類 履物、附屬品

下駄、草履、靴、鼻緒、爪掛等

第二十四類 扇及ヒ團扇

第二十五類 飲食器

膳、碗、茶碗、皿、鉢、杯、德利、菓子器、鐵瓶、土瓶、茶托、杯臺、紅

茶具、珈琲具、匙、箸、箸箱、重箱等

第二十六類 文房具

硯、筆筒、筆架、硯屏、文鎮、墨臺、水滴、印材、肉池、文臺、硯箱、筆

墨、「インキ」筆、「ペン」軸等

第二十七類 樂器、玩具及ヒ遊戲具

第二十八類 菓子及ヒ其他ノ食用品

第二十九類 他類ニ屬セサル物品

第八條 特許法施行細則第一條乃至第二十六條、第二十七條、第二十七條ノ二、第三十二條乃至第三十四條、第三十八條、第三十九條、第四十八條乃至第六十條、第六十六條乃至第六十七條ノ四、第七十條乃至第七十四條ノ二ノ規定ハ意匠ニ關シテ之ヲ準用ス(同上ヲ以テ改正)

附 則

第九條 本則ハ意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書 式

第一號 (三十八年農商務省令第二號ヲ以テ本號中改正)

意匠登録願

收入  
印紙

一意匠ノ名稱

一登録ノ請求範圍

第二類 意匠法施行細則

一意匠ヲ應用スルキ物品  
 一案出者ノ氏名住所、職業（本項ハ出願人カ案出者ナルトキハ記載スルコトヲ要セス）  
 私（私共）儀前記意匠ニ付キ登録相受度（特許法施行細則第一號書式ニ準ス）此段相願候也

本籍（國籍）及ヒ住所  
 職業

年月日

氏

名印

特許局長氏名殿

第二號（同上）

類似意匠登録願

收入  
印紙

一意匠ノ名稱

一登録ノ請求範圍

一意匠ヲ應用スルキ物品

一案出者ノ氏名住所、職業（本項ハ出願人カ案出者ナルトキハ記載スルコトヲ要セス）

一原意匠ノ番號

私（私共）儀前記意匠ニ付キ登録相受度此段相願候也

本籍（國籍）及ヒ住所

職業

氏

名印

年月日

特許局長氏名殿

第三號

登録請求書

第二類 意匠法施行細則

收入  
印紙

一 登錄證主ノ氏名

一 登錄ノ番號

私(私共)儀何某ヨリ前記意匠專用權(持分)ヲ讓受ケ(質取)候ニ付登錄相成度別紙契約書(遺言書)相添此段及請求候也

本籍(國籍)及ヒ住所

年月日

氏 名印

特許局長氏名殿

第四號

登錄請求書

收入  
印紙

一 登錄證主ノ氏名

一 登錄ノ番號

私(私共)儀前記意匠專用權ヲ共有ト致候ニ付登錄相成度別紙契約書相添此段及請求候也

本籍(國籍)及ヒ住所

年月日

共有者 氏 名印

特許局長氏名殿

第五號

第何號

意匠登錄證

一 意匠ノ名稱

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名印

一 意匠ヲ應用スヘキ物品

前記意匠ハ特許局審査官ニ於テ登錄ヲ與フヘキモノト査定シタリ仍テ意匠原

第二類 意匠法施行細則

簿ニ登録シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

第六號

第何號

類似意匠登録證

一意匠ノ名稱

本籍(國籍)及ヒ住所

一意匠ヲ應用スヘキ物品

氏 名

前記意匠ハ明治何年何月何日付第何號登録意匠ト類似スルモノニシテ特許局  
審査官ニ於テ登録スヘキモノト査定シタリ仍テ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

●商標法

(明治三十二年二月一日)  
法律第三十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル商標法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

商標法

第一條 自己ノ商品ヲ表彰スル爲商標ヲ專用セントスル者ハ此ノ法律ニ依リ其  
ノ登録ヲ受クヘシ

第二條 文字、圖形又ハ記號ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノハ商標ノ登録ヲ受  
クルコトヲ得ス

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ圖形ヲ有スルモノ

二 國旗、軍旗、勳章又ハ外國ノ國旗ト同一若ハ類似ノモノ

三 秩序又ハ風俗ヲ紊リ若ハ世人ヲ欺瞞スルノ虞アルモノ

四 他人ノ登録商標又ハ其ノ登録失效後一年ヲ經過セサルモノト同一若ハ類  
似ニシテ同商品ニ使用セントスルモノ

五 此ノ法律施行前ヨリ他ニ使用者アル商標ト同一若ハ類似ノモノ

六 商品ノ普通名稱、產地ヲ表彰スルモノ又ハ其ノ品位、品質、形狀ヲ商業上  
慣用ノ文字、圖形若ハ記號ニ依リ表彰スルモノ及普通ニ使用セララルル氏

第二類 商標法

六百八十七

名、商號、會社名若ハ組合名ヲ普通ノ書體ニ依リ記載スルモノ

七 欄、地紋其ノ他特別著明ノ外觀ナキモノ

第三條 商標專用ノ年限ハ二十年トシ原簿登錄ノ日ヨリ起算ス

外國ノ登錄商標ニシテ帝國ニ於テ登錄ヲ受ケタルモノノ專用年限ハ原登錄ノ

有效年限ニ從フ但シ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 商標專用年限滿了ノ後其ノ商標ヲ續用セントスル者ハ更ニ其ノ登錄ヲ

受ケルコトヲ得

第五條 商標ノ專用ハ農商務大臣ノ定ムル類別ニ從ヒ出願人ノ指定シタル商品

ニ限ル

第六條 登錄商標主其ノ營業ヲ讓渡シ又ハ他人ト其ノ營業ヲ共ニスル場合ニ限

リ其ノ商標ヲ讓渡シ若ハ共有ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許局ニ請求

シ其ノ登錄ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

登錄商標主同商品ニ付類似ノ商標ヲ有スルトキハ共ニ讓渡シ若ハ共有ト爲シ

又ハ類似商標ノ使用ヲ廢止スルニ非サレハ前項ノ登錄ヲ受ケルコトヲ得ス

第七條 商標ノ登錄ヲ受ケントスル者ハ一商標毎ニ其ノ商標ヲ付スヘキ商品ヲ

明記シ見本ヲ添ヘ特許局長ニ出願スヘシ

第八條 二人以上同一又ハ相類似スル商標ヲ同商品ニ使用セントシテ登錄ヲ出

願スル者アルトキハ出願ノ先ナルモノヲ登錄シ同時ニ出願シタルモノハ共ニ

之ヲ登錄セス但シ出願者一人トナリタルトキハ此ノ限ニアラス

第九條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ商標登錄ヲ出願シタル者四箇月以内

ニ同一商標ニ付登錄ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ於テ之ヲ爲

シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第十條 登錄ヲ受ケタル商標ニシテ第二條又ハ第八條ニ違反シタルモノナルト

キハ其ノ登錄ヲ無効トス但シ第二條第四號若ハ第五號ニ該當シ又ハ第八條ニ

違ヒ登錄ヲ受ケタルモノニシテ登錄後三年ヲ經タルトキハ此ノ限ニアラス

第十一條 登錄ヲ受ケタル商標ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ特許

第二類 商標法

局長ニ於テ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得

一 登録商標主登録後其ノ商標ヲ使用スル商品ノ產地、品質等ニ關シ不實ノ事項ヲ附記シタルトキ

二 登録商標主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第二十條ニ依ル特許法第六條ノ代理人ヲ置カサルトキ

第十二條 商標專用權ハ登録商標主其ノ商標ヲ使用スル營業ノ廢止ニ因リ消滅ス

第十三條 商標ノ登録ヲ受クル者ハ一商標ニ付商品一類毎ニ商標料金三十圓ヲ納ムヘシ續用ノ登録ニ付テモ亦同シ

第十四條 特許局ハ商標公報ヲ發行シ商標登録ニ關スル必要事項ヲ公示スヘシ

第十五條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上

五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者ハ罰前項ニ同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定若ハ審決ニ至ラサル前特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

第十六條 他人ノ登録商標ナルコトヲ知り其ノ承諾ヲ經スシテ之ト同一又ハ類似ノ商標ヲ製造シ之ヲ交付若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ登録商標ト同一若ハ類似ノ商標ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知りテ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮又ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

他人ノ登録商標ヲ有スル容器、包裝等ナルコトヲ知り之ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知りテ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者又ハ他人ノ登録商標ト同一若ハ類似ノ商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用

第二類 商標法

シタル者ハ罰前項ニ同シ

第十七條 詐偽ノ所爲ヲ以テ商標ノ登録ヲ受ケタル者又ハ登録ヲ受ケサル商標ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

登録ヲ受ケスシテ登録標記又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ付シタル商標ヲ其ノ商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタル者ハ罰前項ニ同シ

第十八條 第十六條及第十七條ノ場合ニ於テハ商標及商標ヲ表示スヘキ原具ヲ没收ス其ノ商標ト分離スヘカラサル商品、容器、包装等ハ之ヲ毀壞セシム

第十九條 第十六條ノ犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第二十條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十三條第十五條第二十一條第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條及第五十二條ノ規定ハ商標ニ關シテ之ヲ準用ス

第二十一條 主務官廳ニ於テ認可シタル同業者ノ組合ニシテ標章ヲ商標トシテ

専用セントスルトキハ此ノ法律ニ依リ登録ヲ受クルコトヲ得

前項ニ依リ登録ヲ受ケタル標章ハ登録商標ニ準ス

附則

第二十二條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十三條 明治二十一年勅令第八十六號商標條例ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之

ヲ廢止ス

商標條例ニ依テ受ケタル商標ハ此ノ法律ニ依テ受ケタル商標ト同一ノ效アル

モノトス

商標ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行ノ日マテニ處分ヲ終ラサルモノ

ノハ此ノ法律ニ依リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スヘシ

第二十四條 明治二十一年勅令第八十六號商標條例第二條第三號ニ該當シ又ハ

同第八條ニ違ヒ登録ヲ受ケタル商標ニシテ同第十條ニ依リ無効タルヘキモノ

第二類 商標法



ニ對シテハ此ノ法律施行後二年ヲ經過スルトキハ其ノ登録無效ノ審判ヲ請求スルコトヲ得ス

●商標法施行細則

(明治三十一年六月二十日)  
(農商務省令第十五號)

商標法施行細則左ノ通相定ム

商標法施行細則

第一條 商標登録願書ハ第十五條ニ定メタル類別毎ニ之ヲ作ルヘシ

第二條 帝國ニ於テ登録ヲ受ケントスル商標カ既ニ外國ニ於テ登録ヲ受ケタルモノナルトキハ其登録願書ニ原登録證及ヒ明細書ノ謄本ニシテ其國ノ政府ニ於テ認證シタルモノヲ添附スヘシ

第三條 商標ヲ續用セントスルトキハ其專用年限滿了ノ日ヨリ三箇月以前ニ其願書ヲ特許局ニ差出スヘシ(三十八年農商務省令第三號ヲ以テ全條改正)

前項ノ期限後ト雖モ専用年限滿了以前ニ在リテハ別ニ手数料ヲ納付シ前項願

書ノ受理ヲ請求スルコトヲ得

願書ニハ登録證ヲ添附スヘシ但亡失、毀損其他ノ事由ニ因リ添附シ能ハサル

トキハ其旨ヲ證明スヘシ

外國ニ於テ商標續用ノ許可ヲ得タル後帝國ニ於テ其商標ヲ續用セントスルトキハ其國ニ於テ許可ヲ得タル旨ヲ證明スル書面ヲ願書ニ添附スヘシ

第四條 共有商標ノ登録ヲ受ケントスルトキハ登録願書ニ營業ヲ共ニスル事實ヲ證明スル書面ヲ添附スヘシ

第五條 商標ノ見本ハ強靱ナル紙料ヲ以テ之ヲ作ルヘシ

見本ハ五通之ヲ差出スヘシ但特許局長ハ必要ト認ムルトキハ更ニ數通ノ提出ヲ命スルコトヲ得(同上ヲ以テ本項中改正)

第六條 (同上ヲ以テ削除)

第七條 審査官カ商標ヲ登録スヘキモノト査定シタルトキハ特許局長ハ其査定書ヲ出願人ニ送付スヘシ

第二類 商標法施行細則

出願人カ査定書ノ送付ヲ受ケタルトキハ商標料ヲ納付シ且同時ニ商標ノ印版一箇ヲ差出スヘシ

第八條 商標ノ印版ハ木、亞鉛其他活版ニ適スルモノヲ用井長サ及ヒ幅各曲尺

三寸三分(十「サンチメートル」)以内、厚サ七分九厘二毛(二「サンチメートル」

四)トシ文字ヨリ成ル商標ノ印版ノ長サ及ヒ幅ハ各二寸一分四厘五毛(六「サ

ンチメートル」五)以内トスヘシ(同上ヲ以テ全條改正)

印版ハ一箇ノ直角四邊形ノ版面ニ彫刻シテ之ヲ作ルヘシ

第九條 特許法施行細則第十六條、第三十二條及ヒ第三十三條ノ規定ハ商標ノ

印版ニ之ヲ準用ス(同上)

第十條 出願人カ第七條第二項ニ定メタル手續ヲ爲シタルトキハ特許局長ハ商

標原簿ニ登錄スヘシ

第十一條 商標登錄證ハ第十七條ニ基キ特許法施行細則第六十七條ノ三第二項

ニ依ル下付又ハ再下付ノ場合ヲ除クノ外第六號乃至第八號書式ニ依リ之ヲ作

ルヘシ但商標ノ續用登錄ノ場合ニ於テハ原登錄證ニ其旨ヲ附記シテ之ヲ下付スルコトヲ得(同上)

第十二條 商標ノ讓渡又ハ共有ノ登錄ヲ受ケントスルトキハ其請求書ニ營業ヲ

讓受ケ又ハ營業ヲ共ニスル事實ヲ證明スル書面ヲ添附スヘシ

第十三條 商標料ハ登錄許可ノ査定書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘ

シ

第十四條 商標原簿ニハ左ノ事項ヲ登錄スヘシ(同上ヲ以テ條中改正)

- 一 登錄ノ番號
- 二 類別及ヒ商品
- 三 登錄商標主ノ氏名、住所、外國人又ハ外國法人ニ在リテハ竝ニ其國籍、同業組合ニ在リテハ其名稱、事務所及ヒ其代表者ノ氏名
- 四 外國ノ登錄商標ニ付テハ原登錄ノ有效年限
- 五 商標ノ續用ニ付テハ其事由

第二類 商標法施行細則

- 六 類似商標ニ付テハ原商標ノ登録番號
- 七 商標專用權ノ讓渡又ハ共有ニ付テハ其事由
- 八 登録證ノ名義變更ニ付テハ其事由
- 九 商標專用權ノ差押、假差押、假處分又ハ其變更若クハ消滅ニ付テハ其事由
- 十 第十七條ニ基キ特許法施行細則第十七條第一項ニ依リ届出テ又ハ書類ニ記載シタル登録商標主ノ代表者
- 十一 帝國內ニ住所ヲ有セサル登録商標主ノ代理人ノ氏名、住所
- 十二 商標專用權ニ係ル審判ノ請求及ヒ其確定ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十三 商標專用權ノ消滅ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十四 登録證ノ再下付ニ付テハ其事由及ヒ年月日
- 十五 登録證複本ノ下付ニ付テハ其事由、年月日及ヒ請求人ノ氏名、住所
- 十六 第十七條ニ基キ特許法施行細則第六十七條ノ三第二項ニ依ル登録證ノ

下付ニ付テハ其事由及ヒ下付ノ年月日

十七 登録ノ年月日

第十四條ノ二 商標登録證複本、第十七條ニ基キ特許法施行細則第六十七條ノ三第二項又ハ第七十四條ニ依リ下付スル商標登録證ニハ商標見本ヲ貼附シ第十四條第一號乃至第三號及ヒ第六號、第十四號乃至第十六號ニ規定シタル事項並ニ商標登録證ノ種類、商標專用年限ヲ記載シ其商標登録證複本ニ付テハ其複本ナルコト及ヒ其番號ヲ記載スヘシ(同上ヲ以テ追加)

第十五條 出願人ハ左ノ類別ニ從ヒ商標ヲ使用セントスル商品ヲ指定スヘシ(同上ヲ以テ第二十類中改正)

第一類 化學品、藥劑及ヒ醫療補助品

酸類、鹽類、亞爾加里、漂白粉、護膜、膠、燐、石鹼、酒精、偏里設林、規那鹽、莫兒比涅、丁幾劑、舍利別、煎劑、水劑、浸劑、丸藥、膏藥、散藥、錠藥、煉藥、生藥、藥油、石灰、硫黃、礦水、麝香、打粉、食鹽、艾、

第二類 商標法施行細則

防腐劑、防臭劑、驅蟲劑、綳帶、綿紗、綿散絲、脫脂綿、海綿等

第二類 染料、顏料及媒染料

藍玉、藍靛、紫根、紅、朱、丹、綠青、燒青、洋靛、白粉、胡粉、金銀粉、藤黃、染齒料、綠礬、明礬等

第三類 塗料

漆、假漆、油漆、澁、靴墨、靴油、防鏽料、防水料等

第四類 香料、燻料及他類ニ屬セサル化粧品

香水、香油、髮膏、香袋、線香、炷香、化粧下等

第五類 金屬及ヒ其半加工品

銑鐵、鍛鐵、鋼鐵、條鐵、鐵葉、鐵板、鐵線、銅、銅板、銅線、鉛、鉛板、亞鉛、亞鉛板、錫、合金等

第六類 金屬製品

鑄物、打物、彫鏤品、編物等

第七類 利器及ヒ尖刃器

鎌、鋸、鑿、錐、槓、斧、鉞、小刀、剃刀、庖丁、鉋、鐵、針、釘、鑿嘴等

第八類 貴金屬、其模造物及ヒ其製品並ニ彫鏤品(「アルミニウム」金、「ニツ

ケル」銀及ヒ「ブリタニヤメタル」モ之ニ屬ス)

黃金、銀、四分一、紫銅、其他貴金屬ノ合金、鍍品、「モール」等

第九類 寶石類、其模造物及ヒ其製品並ニ彫鏤品

金剛石、珊瑚珠、眞珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉等

第十類 礦物類

第十一類 石材、其模造物及ヒ其製品並ニ彫鏤品、版石、大理石、砥石、石器等

第十二類 漆喰及ヒ土砂類

漆喰、「セメント」、石膏、土瀝青、土砂等

第十三類 陶磁器類

第二類 商標法施行細則

陶器、磁器、土器、瓦、煉瓦等

第十四類 七寶燒

第十五類 玻璃及其製品(琉璃質品モ之ニ屬ス)

玻璃板、玻璃管、玻璃壘、玻璃球等

第十六類 機械類(機械ノ各部モ之ニ屬ス)

織機、紡績機、裁縫機、製糖機、印刷機、其他諸機械、汽機、汽罐等

第十七類 農工器具

犁、鋤、鍬、稻拔、唐箕、耙、釘拔、鐵槌、繩墨等

第十八類 理化學、醫術、測量及ヒ教育用器械、器具(眼鏡及ヒ算數器類モ之ニ屬ス)

第十九類 度量衡

第二十類 運搬用機械並ニ器具類機械及ヒ器具ノ各部モ之ニ屬ス

荷車、馬車、人力車、自轉車、小兒用車、船舶、鐵道用車輛、車輪等

第二十一類 樂器

第二十二類 時計及ヒ其附屬品

第二十三類 銃砲、彈丸及ヒ爆發物類

大砲、小銃、獵銃、短銃、火藥、綿火藥、「ダイナマイト」、雷管、煙火等

第二十四類 蠶種、天蠶種及ヒ繭

第二十五類 絹綿、木棉綿、麻、苧、羽毛類及ヒ其粗製品

第二十六類 生絲、絹絲及ヒ天蠶絲(琴絲、金絲、銀絲モ之ニ屬ス)

第二十七類 綿絲

第二十八類 毛絲

第二十九類 麻絲及ヒ第二十六類乃至第二十八類ニ屬セサル絲類

第三十類 絹織物

第三十一類 木綿織物

第三十二類 毛織物

第二類 商標法施行細則

第三十三類 麻織物

第三十四類 第三十類乃至第三十三類ニ屬セサル織物

第三十五類 絲類ノ編物、組物及「レース」類(各種ノ紐類モ之ニ屬ス)

第三十六類 被服類

衣服、冠、帽子、「カラ」、「カフス」、襟飾、襯衣、「ツボン」下、手袋、足袋、目利安等

第三十七類 清酒

第三十八類 砂糖、蜜類

砂糖、氷砂糖、糖蜜、蜂蜜等

第三十九類 菓子及ヒ麵麩類

干菓子、蒸菓子、掛ケ物、西洋菓子、餡、砂糖漬等

第四十類 茶、咖啡及ヒ「チョコレート」類

第四十一類 煙草類

七百四

第四十二類 穀、菜、種子及ヒ菓物類

五穀、蔬菜、蕈、菓實、種子、根球、麴種、「モヤシ」等

第四十三類 挽粉、澱粉及ヒ其製品

穀粉、葛粉、山慈姑粉、麩類、湯葉、蒟蒻、凍豆腐、凍蒟蒻等

第四十四類 味噌、醬物及ヒ漬物類

第四十五類 他類ニ屬セサル食料品及ヒ加味品

肉類、越後斯類、卵、鱈節、鰯、乾鮑、海苔、昆布、荒布、佃煮、罐詰、雲丹、芥子、胡椒等

第四十六類 牛乳及ヒ其製品

牛乳、凝乳、乳油、乳餅、乳粉等

第四十七類 煙具及ヒ袋物

煙管、煙袋、煙管筒、懷中物等

第四十八類 紙及ヒ其製品

第二類 商標法施行細則

七百五

紙、色紙、短冊、板紙、擬革紙、壁紙、油紙、澁紙、書簡筒、張文匣、一閑張、帳簿、元結、水引等

第四十九類 文房具

筆、墨、印肉、墨汁、石筆、鉛筆、「ペン」、「ペン」軸、硯、墨汁壺、文鎮、筆筒、筆架等

第五十類 皮革及其製品(各種ノ靴類モ之ニ屬ス)

毛皮、柔革、馬具、文匣、革帶、靴、唐弓絛、鞆等

第五十一類 摺附木

第五十二類 油、蠟類

石油、種油、魚油、蠟、蠟燭、脂肪等

第五十三類 肥料

子嗣、鱗粕、油粕、骨粉、糠等

第五十四類 木竹材(木皮、竹皮類モ之ニ屬ス)

第五十五類 木、竹、籐類ノ製品及ヒ其漆塗、蒔繪品類

指物、挽物、曲物、編物、組物、桶類等

第五十六類 甲、角、牙類ノ製品及ヒ其模造品

第五十七類 藁、草及ヒ他類ニ屬セサル其製品

藁、蓆表、筵、笠、繩、藁蓆、蓆田等

第五十八類 傘、杖、履物及ヒ其附屬品

傘、蝙蝠傘、杖、下駄、草履、雲駄、鼻緒、爪掛等

第五十九類 扇子及ヒ團扇類

第六十類 燈器(燈器ノ各部モ之ニ屬ス)

「ランプ」、燭臺、提燈等

第六十一類 齒磨及ヒ洗粉類(磨粉モ之ニ屬ス)

第六十二類 刷子及ヒ髻類

第六十三類 玩具及ヒ遊戲具類(造花及ヒ花簪類モ之ニ屬ス)

第二類 商標法施行細則

鞠、碁、將棋、人形、獨樂、弓、球突具、押繪、骨牌等

第六十四類 圖畫及ヒ寫真類

第六十五類 書籍、新聞紙、雜誌類

第六十六類 洋酒

葡萄酒、麥酒、「ブランデー」、「ベルモット」、「ウヰスキー」、「リキュール」等

第六十七類 他類ニ屬セサル各種ノ酒類

味淋、白酒、燒酎、濁酒、龜ノ歲、直シ等

第六十八類 他類ニ屬セサル各種ノ飲料

曹達水、蜜柑水、「ラム子」、氷等

第六十九類 醬油及ヒ酢類

第七十類 燃料類

石炭、「コーク」、薪、炭、附木、燭心等

第七十一類 寢具類

寢臺、蒲團、坐蒲團、枕、蚊帳等

第七十二類 他類ニ屬セサル護謨製品

第七十三類 他類ニ屬セサル商品

第十六條 商標法第二十二條ニ定メタル同業組合カ差出ス書面ニハ其名稱及ヒ

事務所ヲ記載シ代表者之ニ署名捺印スヘシ

同業組合カ標章ノ登録ヲ受ケントスルトキハ其願書ニ主務官廳ノ認可ヲ得タ

ル旨ヲ證明スル書面ヲ添附スヘシ

第十七條 特許法施行細則第一條乃至第十五條、第十六條乃至第二十六條、第

二十七條、第二十七條ノ二、第三十二條、第三十四條、第三十八條、第三十

九條、第四十八條乃至第五十九條、第六十六條乃至第六十七條ノ四及ヒ第七

十條乃至第七十四條ノ二ノ規定ハ商標ニ關シテ之ヲ準用ス（三十八年農商務

省令第三號ヲ以テ改正）

附則

第二類 商標法施行細則



第十八條 本則ハ商標法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
書式

第一號

商標登録願

收入  
印紙

印  
本見

商標ヲ附スヘキ商品

(私私共)儀前掲商標ニ付キ登録相受度(特許法施行細則第一號書式ニ準ス)此  
段相願候也

本籍(國籍)及ヒ住所  
職業

年月日

氏 名 印

特許局長氏名殿

第二號

商標續用登録願

收入  
印紙

印  
本見

登録ノ番號

商標ヲ附スヘキ商品

私(私共)儀前掲商標專用致度ニ付更ニ登録相受度此段相願候也

年月日

本籍(國籍)及ヒ住所  
氏 名 印

特許局長氏名殿

第三號

第二類 商標法施行細則

組合標章登録願

七百十二

收入  
印紙

印  
本見

標章ヲ附スヘキ商品

當組合儀前掲ノ標章ヲ商標トシテ使用致度ニ付登録相受度主務官廳ノ認可證  
相添此段相願候也

何府縣郡市町村番地

何々 組合

何府縣郡市町村番地

代表者 氏 名印

年月日

特許局長氏名殿

第四號

登録請求書

收入  
印紙

一 登録商標主ノ氏名

一 登録ノ番號

私(私共)儀何某ヨリ前記商標專用權ヲ讓受ケ候ニ付登録相成度別紙契約書  
(遺言書)相添此段及請求候也

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名印

年月日

特許局長氏名殿

第五號

登録請求書

第二類 商標法施行細則

七百十三

收入印紙

一 登錄商標主ノ氏名  
一 登錄ノ番號  
私(私共)儀前記商標專用權ヲ共有ト致候ニ付登錄相成度別紙契約書相添此段及請求候也

年月日

共有者

氏

名印

本籍(國籍)及ヒ住所

特許局長氏名殿

第六號

第何號

商標登錄證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏

名

印  
本見

商標ヲ附スヘキ商品

前掲商標ハ特許局審査官ニ於テ登錄スヘキモノト査定シタリ仍テ商標原簿ニ登錄シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長

氏

名印

第七號

第何號

外國商標登錄證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏

名

印  
本見

第二類 商標法施行細則

一 商標ヲ附スヘキ商品  
一 專用年限

前掲商標ハ何國ノ登録商標ニシテ特許局審査官ニ於テ登録スヘキモノト査定シタリ仍テ商標原簿ニ登録シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏 名印

第八號

第何號(原登録ノ番號)

商標續用登録證

本籍(國籍)及ヒ住所

氏 名



商標ヲ附スヘキ商品

前掲商標ハ明治何年何月何日第何號登録商標ノ續用ニ係ルモノニシテ特許局

審査官ニ於テ登録スヘキモノト査定シタリ仍テ商標原簿ニ登録シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏 名印

● 特許代理業者登録規則

(明治三十二年六月八日 勅令第二百三十五號)

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ特許代理業者登録規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

特許代理業者登録規則

第一條 特許代理業者ト稱スルハ特許ノ意匠又ハ商標ニ關スル代理ヲ營業トスル者ヲ謂フ

第二條 特許代理業者ノ登録ヲ受ケントスル者ハ能力者ニシテ且特許代理業者試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

特許代理業者試験ニ關スル規定ハ農商務大臣之ヲ定ム

第三條 左ニ掲グル者ハ試験ヲ經スシテ登録ヲ受クルコトヲ得

第二類 特許代理業者登録規則

- 一 文官高等試験又ハ判事檢事登用試験ニ合格シタル者
  - 二 帝國大學分科大學又ハ之ヲ學科程度同等ト認ムル内外國ノ學校ニ於テ定規ノ課業ヲ卒ヘタル者
  - 三 辯護士タル資格ヲ有スル者
  - 四 特許局ノ高等官タリシ者又ハ二年以上特許局審査官補タリシ者
- 第四條 左ニ掲ケル者ハ登録ヲ受クルコトヲ得ス
- 一 特許法、意匠法、商標法又ハ第十五條ニ定メタル罪ヲ犯シタル者
  - 二 重罪ノ刑ニ處セラレタル者但シ國事犯ニシテ復權シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
  - 三 禁錮ニ處セラレ滿期又ハ赦免ノ後三年ヲ經サル者
  - 四 公權停止中ノ者
  - 五 破産者ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第五條 特許代理業者ニシテ第二條者ハ第三條ノ資格ヲ失ヒ又ハ第四條ニ該當スルトキハ登録ハ直ニ其ノ效ヲ失フ

第六條 登録ヲ受ケントスル者ハ手数料トシテ金十圓ヲ納ムヘシ  
前項ノ手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ  
手数料ハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ還付セス

第七條 登録願書ニハ履歴書及第二條第一項第三條並第四條ノ事項ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第八條 特許局ニハ特許代理業者名簿ヲ備ヘ左ノ事項ヲ登録スヘシ

- 一 特許代理業者ノ氏名、住所
- 二 事務所
- 三 登録ノ年月日

第九條 前條第一號及第二號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ特許代理業者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ特許局ニ届出ツヘシ特許代理業者其ノ業務ヲ廢止シ

第二類 特許代理業者登録規則

タルトキ亦同シ

特許代理業者死亡シタルトキハ其ノ相續人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ツヘシ  
前二項ノ届出アリタルトキハ特許局長ハ特許代理業者名簿ニ其ノ旨ヲ登録ス  
ヘシ

第十條 特許代理業ヲ停止シ又ハ其ノ停止ヲ解キタルトキハ特許局長ハ特許代  
理業者名簿ニ其ノ旨ヲ登録スヘシ

第十一條 特許代理業ヲ禁止シタルトキ及第五條ノ事實アリタルトキハ特許局  
長ハ特許代理業者名簿ニ抹消ノ登録ヲ爲スヘシ

第十二條 特許代理業者名簿ニ登録シタル事項ハ官報特許公報及商標公報ヲ以  
テ之ヲ公告スヘシ

第十三條 特許代理業者ハ相手方ノ代理人トシテ取扱ヒタル事件又ハ特許局在  
職中取扱ヒタル事件ニ付其ノ業務ヲ行フコトヲ得ス

第十四條 特許代理業者組合ヲ設ケタルトキハ組合規約ヲ定メテ特許局長ノ認

可ヲ受クヘシ組合規約ヲ變更シタルトキ亦同シ其ノ組合ヲ廢止シタルトキハ  
特許局ニ届出ツヘシ

第十五條 登録ヲ受ケスシテ特許代理業ヲ營ミ若ハ特許代理業者ト公稱シタル  
者又ハ詐偽ノ所爲ヲ以テ登録ヲ受ケタル者ハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處  
ス

特許代理業ヲ停止若ハ禁止セラレ又ハ第五條ニ依リ登録ノ效ヲ失ヒ仍業務ヲ  
營ミタル者亦前項ニ同シ

附 則

第十六條 本令發布前ヨリ特許代理業ヲ營ム者ニシテ第三條ニ該當セサル者ハ  
特許代理業者試験委員ノ銓衡ヲ經テ登録ヲ受クルコトヲ得但シ本令施行ノ日  
ヨリ三十日以内ニ出願シタル者ニ限ル

第十七條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

第二類 特許代理業者登録規則

●特許代理業者試験規則

(明治三十二年十一月四日)  
(農商務省令第二十九號)

特許代理業者試験規則左ノ通相定ム

特許代理業者試験規則

第二條 特許代理業者試験ハ特許代理業者試験委員之ヲ行フ

第二條 試験ノ期日及ヒ場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第三條 特許代理業者登録規則 第四條ニ掲ケタル者ハ 試験ヲ受クルコトヲ得

ス

第四條 特許代理業者試験ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ履歴書ヲ添附シ之ヲ試

験委員長ニ差出スヘシ

第五條 特許代理業者試験ヲ受ケントスル者ハ手数料トシテ金五圓ヲ納ムヘシ

手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

手数料ハ如何ナル場合ニ於テモ之ヲ還付セス

第六條 特許代理業者試験ハ左ノ科目ニ付キ之ヲ行フ

一 特許、意匠及ヒ商標ニ關スル法令

二 民法、刑法、民事訴訟法及ヒ刑事訴訟法

三 數學、物理學及ヒ化學

前項第二號及ヒ第三號ニ掲ケタル科目ハ試験ヲ受ケントスル者ニ於テ其一ヲ

選擇スルコトヲ得

第七條 特許代理業者試験ハ筆記トス

試験委員必要ト認ムルトキハ筆記試験ニ合格シタル者ニ對シテ口述試験ヲ行

フコトヲ得

第八條 不正ノ方法ニ依リ試験ニ合格シタルトキハ其合格ハ無効トス

第九條 試験合格者ヲ定ムル方法ハ試験委員ノ議定スル所ニ依ル

第十條 試験合格者ノ氏名ハ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第十一條 試験合格者ニハ合格證書ヲ授與ス

第二類 特許代理業者試験規則

●特許出願ニ關スル明細書及圖面調製方標準

(明治三十二年六月二十二日)  
農商務省告示第五十九號

明治三十二年七月一日以後特許出願ニ關スル明細書及ヒ圖面ハ左ノ標準ニ依リ作ルヘシ

- 一 明細書ハ美濃紙ニツ折ニシテ凡ソ其上部曲尺一寸、下部八分、左二分、綴料一寸ヲ餘シ楷書又ハ行書ヲ以テ十三行二十五字詰ニ認ムヘシ
- 二 明細書中圖面ト對照シテ説明スルモノアルトキハ其指示スヘキ部分ニ適當ナル名稱及ヒ符號ヲ附スヘシ
- 三 圖面ハ強靱ニシテ平滑ナル白紙若クハ覆寫布ヲ用非凡ソ其上部曲尺六分、下部四分、左二分、右一寸四分ヲ餘シ堅曲尺八寸、横四寸八分ノ面内ニ濃墨ニテ鮮明ニ調製スヘシ
- 四 圖面ハ著色スルコトヲ得ス

- 五 圖ノ離レタルモノハ一箇毎ニ番號ヲ附シ又一部分ニシテ數圖ニ亘ルモノアレハ必ス同一ノ符號ヲ用ユヘシ但番號及ヒ符號ハ濃墨ニテ明瞭ニ記スヘシ
- 六 符號ヲ直ニ圖ニ施スコト能ハサルトキハ其部分ヨリ少ク離シテ之ヲ記シ點線若クハ細線ヲ以テ其部分ト符號トヲ接續スヘシ陰ヲ施シタル上ニハ符號ヲ記スヘカラス已ヲ得サルトキハ部分ニ限リ陰ヲ施サスシテ符號ヲ記スヘシ
- 七 截斷面ヲ現ハスニハ線間凡ソ曲尤三厘ヲ離シタル平行線ヲ斜ニ引クヘシ又截斷面中部分ヲ異ニスルモノハ各方向ヲ異ニシタル斜線ヲ用ユヘシ
- 八 凹凸ノ部分ヲ明瞭ナラシムル爲メ圖面ニ陰ヲ施ス必要アルトキハ線ヲ用非テ簡明ニ畫クヘシ射影ハ成ルヘク施スヘカラス
- 九 明細書及ヒ圖面ニハ出願人署名捺印シ他ノ事項ヲ記載スヘカラス



●特許、意匠及商標ニ關スル手数料

(明治三十二年五月十三日) 勅令第百九十五號

朕特許、意匠及商標ニ關スル手数料ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 特許、意匠又ハ商標ニ關シ左ニ掲ケル書類ヲ差出ス者ハ手数料トシテ

下ニ定ムル金額ヲ納ムヘシ

- 一 特許願書 每一件金五圓
- 二 追加特許願書 每一件金三圓
- 三 特許證改訂願書 每一件金五圓
- 四 特許證分割願書 每一件金五圓
- 五 意匠登錄願書 每一件金一圓
- 六 商標登錄願書 每一件金三圓
- 七 標章登錄願書 每一件金三圓

八 登錄商標續用登錄願書

每一件金二圓

九 再審查請求書

每一件金三圓

十 審判請求書

每一件金十二圓

十一 書類ノ謄本ノ請求書

謄本十三行二十五字詰  
一枚ニ付金十錢、字數  
一枚ニ滿タサルモノハ  
一枚トス  
歐文書類ノ謄本ハ百語  
ニ付金十錢、百語ニ滿  
タサルモノ亦同シ

十二 圖面ノ調製ノ請求書

圖面一枚ニ付金三十錢  
以上金三十圓以下ニ於  
テ調製ノ難易ニ從ヒ特  
許局長ノ定ムル金額

十三 原簿ノ一覽ノ請求書

每一件十錢

十四 博覽會又ハ共進會ノ出品ニ關スル届書

每一件金一圓

第二類 特許意匠及商標ニ關スル手数料

七百二十七

第二條 手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

附則

第三條 本令ハ明治三十二年七月一日ヨリ施行ス

●特許、意匠又ハ商標ニ關シ差出ス請求書、申請書

ニ要スル手数料

(明治三十八年一月四日)  
農商務省令第四號

明治三十二年農商務省令第十六號左ノ通改正ス

第一條 特許、意匠又ハ商標ニ關シ左ニ掲ケル請求又ハ申請ヲ爲ス者ハ手数料

トシテ下ニ定ムル金額ヲ納ムヘシ

- 一 期日又ハ期間變更ノ請求 每一件金二十錢
- 二 證明ノ請求 每一件金五十錢
- 三 審判ニ關スル費用ノ負擔及ヒ費用額決定ノ申請 每一件金五十錢
- 四 利用發明ノ特許ニ付原特許證主ニ支拂フヘキ報

酬額決定ノ申請

每一件金五十錢

五 相續ニ因ル特許證、意匠登錄證若クハ商標登錄證

ノ書換又ハ名義變更ノ請求

每一件金一圓

六 特許證再下付ノ請求

每一件金三圓

七 意匠登錄證又ハ商標登錄證再下付ノ請求

每一件金一圓

八 特許證複本ノ請求

每一件金三圓

九 意匠登錄證複本又ハ商標登錄證複本下付ノ請求

每一件金一圓

十 書類雜形又ハ見本閱覽ノ請求

每一件金十錢

十一 參加ノ請求

每一件金三圓

十二 差押、假差押若クハ假處分又ハ其變更若クハ

消滅登錄ノ請求

每一件金五十錢

十三 商標專用年限滿了前三箇月以内ニ於ケル商標

續用登錄受理ノ請求

每一件金一圓

第二類 特許、意匠又ハ商標ニ關シ差出ス請求書、  
申請書ニ要スル手数料 七百二十九

十四 相續以外ノ原因ニ因ル特許證ノ名義變更ノ請求

每一件金五圓

十五 相續以外ノ原因ニ因ル意匠登録證ノ名義變更ノ請求

每一件金一圓

十六 相續以外ノ原因ニ因ル商標登録證ノ名義變更ノ請求

每一件金五圓

十七 特許願書ノ名義變更ノ請求

每一件金二圓

十八 意匠登録願書ノ名義變更ノ請求

每一件金五十錢

十九 商標登録願書又ハ標章登録願書ノ名義變更ノ請求

第二條 手数料ハ其納付スヘキ金額ニ相當スル收入印紙ヲ差出スヘキ書類ニ貼附シテ之ヲ納付スヘシ但口頭ヲ以テ前條ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ特許局官吏ノ作成シタル書面ニ收入印紙ヲ貼附スヘシ

附則

第三條 本令ハ明治三十八年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●特許法意匠法及商標法施行細則ノ規定ニ依

リ書留郵便ヲ以テ書類提出ノトキ封筒ニ記

載方 (明治三十二年七月一日  
農商務省告示第六十二號)

明治三十二年七月一日以後特許法、意匠法及ヒ商標法施行細則ノ定ムル所ニ依リ書留郵便ヲ以テ願書、請求書、博覽會若クハ共進會ノ出品ニ關スル届出又ハ差出期間ノ定メアル書類ヲ差出ストキハ其封筒ノ表面ニ「特許(意匠又ハ商標)ニ關スル書類」ト朱書スヘシ

●實用新案

第二類

特許法意匠法及商標法施行細則ノ規定ニ依リ書留郵便ヲ以テ書類提出ノトキ封筒ニ記載方 七百三十一

●實用新案法

(明治三十八年二月十五日  
法律第二十一號)

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル實用新案法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
實用新案法

第一章 總則

第一條 工業上ノ物品ニ關シ其ノ形狀、構造又ハ組合ハセニ係リ實用アル新規ノ考案ヲ爲シタル者又ハ之ヲ承繼シタル者ハ本法ニ依リ實用新案ノ登録ヲ受クルコトヲ得

左ノ各號ニ該當セサルモノハ新規ナルモノト看做ス

- 一 登録出願前同一又ハ類似ノ物品ニ關シ帝國內ニ於テ公ニ用井ラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノ
- 二 登録出願前同一又ハ類似ノ物品ニ關シ容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ公刊物ニ記載セラレタルモノ又ハ之ニ類似スルモノ

第二條 左ニ掲グル實用新案ハ之ヲ登録セス

- 一 菊花御紋章又ハ之ニ類似スルモノ
  - 二 秩序若ハ風俗ヲ紊リ又ハ衛生ヲ害スルノ虞アルモノ
- 第三條 實用新案ニ關シ出願若ハ請求ヲ爲サムトスル者又ハ實用新案權者ニシテ帝國內ニ住所ヲ有セサルトキハ帝國內ニ住所ヲ有スル者ニ就キ代理人ヲ定メ特許局長ニ届出ツヘシ

前項ノ代理人ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ爲スヘキ手續及實用新案ニ關スル民事訴訟、私訴及告訴ニ付本人ヲ代表スルモノトス

第四條 特許局長ハ實用新案ニ關スル代理人ヲ適當ナラスト認ムルトキハ其ノ改任ヲ命スルコトヲ得

第五條 特許代理業者ニ非サンハ實用新案ニ關スル代理ヲ常業トスルコトヲ得ス

第六條 實用新案ニ關シ出願又ハ請求ヲ爲シタル者本法又ハ本法ニ基キテ發ス  
第二類 實用新案法  
七百三十三

ル命令ニ依リ特許局長又ハ審判長ノ定ムル期間内ニ成規又ハ指定ノ手續ヲ爲  
ササルトキハ特許局長又ハ審判長ハ其ノ出願又ハ請求ヲ無効ト爲スコトヲ  
得

第七條 本法ニ依リ特許局ニ於テ爲ス書類ノ送付ハ書留郵便又ハ特許局ノ使丁  
ヲ以テ之ヲ爲ス

第八條 實用新案ニ關シ條約ニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二章 實用新案權

第九條 實用新案權ハ實用新案ノ登録ニ依リ發生ス

實用新案權者ハ其ノ登録ヲ受ケタル物品ヲ製作、販賣、擴布又ハ使用スル權  
利ヲ專有ス

第十條 實用新案權ノ存續期間ハ三箇年トス

前項ノ期間ハ三箇年間之ヲ延長スルコトヲ得

第十一條 實用新案權ハ制限ヲ付シ又ハ付セスシテ之ヲ讓渡スルコトヲ得

第十二條 實用新案權存續期間ノ延長ハ特許局長ニ請求シテ登録ヲ受クルニ  
非サレハ其ノ効ヲ生セス  
實用新案權ノ移轉又ハ質入ハ特許局長ニ請求シテ登録ヲ受クルニ非サレハ之  
ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十三條 無効ノ審判確定シタルトキハ特許局長ハ實用新案ノ登録ヲ取消スハ  
シ此ノ場合ニ於テハ實用新案權ハ初メヨリ存立セサルモノト看做ス

實用新案權者正當ノ事由ナクシテ六箇月以上第三條ノ手續ヲ怠リタルトキハ  
特許局長ハ實用新案ノ登録ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ實用新案權ハ  
以後効力ヲ失フ

第十四條 登録實用新案カ其ノ出願前ノ出願ニ係ル特許發明、登録意匠又ハ登  
録實用新案ヲ使用スルニ非サレハ實施スルコト能ハサルトキハ其ノ發明特許  
權者、意匠權者又ハ實用新案權者ノ許諾ヲ得タル場合ニ限り之ヲ實施スルコ  
トヲ得

第二類 實用新案法

特許發明又ハ登録意匠カ其ノ出願前ノ出願ニ係ル登録實用新案ヲ使用スルニ非サレハ實施スルコト能ハサルトキハ實用新案權者ノ許諾ヲ得タル場合ニ限リ之ヲ實施スルコトヲ得

第十五條 實用新案權者ハ制限ヲ付シ又ハ付セスシテ登録實用新案ノ實施ヲ他人ニ許諾スルコトヲ得

實用新案實施ノ許諾ヲ得タル者ニシテ特許局長ニ請求シ其ノ登録ヲ受ケルトキハ爾後其ノ實用新案權ヲ取得シタル者又ハ其ノ實用新案權ニ付實權ヲ取得シタル者ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第十六條 實用新案權者又ハ實用新案實施ノ許諾ヲ得タル者ハ其ノ登録實用新案ニ係ル物品ニ登録標記ヲ附スヘシ物品ノ性質ニ依リ之ニ標記ヲ附スルコト能ハサルトキハ其ノ包裝上ニ之ヲ附スヘシ  
標記ヲ附ズルコトヲ怠リタル爲登録實用新案品ナルコトヲ知ラスシテ其ノ權利ヲ侵害シタル者ニ對シテハ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得ス

第三章 出願、審査及登録

第十七條 實用新案ノ登録ヲ受ケムトスル者ハ一實用新案ニ付一物品毎ニ願書ニ圖面ヲ添ヘ特許局長ニ差出スヘシ

特許局長ハ必要ト認ムルトキハ出願人ニ解説書、圖面、見本又ハ雛形ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第十八條 同一又ハ類似ノ實用新案ニ付テハ最先ニ出願ヲ爲シタル者ニ非サレハ登録ヲ受ケルノ權利ヲ有セス但シ同日ノ出願ニ係ルトキハ各出願者協議シテ權利者ヲ定ムヘシ協議調ハサルトキハ共ニ之ヲ登録セス

第十九條 發明特許又ハ意匠登録ノ出願ヲ爲シ特許又ハ登録スヘカラストノ査定ヲ受ケタル者其ノ最初ノ査定ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ發明又ハ意匠ニ係ル物品ニ付實用新案ノ登録ヲ出願シタルトキハ其ノ發明特許又ハ意匠登録ヲ出願シタル日ニ於テ出願シタルモノト看做ス

第二十條 政府又ハ道府縣ノ開設シタル博覽會又ハ共進會ニ出品スル物品ニ付  
第二類 實用新案法  
七百三十七

其ノ出品前豫メ之ヲ特許局長ニ届出テ博覽會又ハ共進會ニ於テ其ノ物品ヲ受領セシ日ヨリ六箇月以内ニ其ノ實用新案ノ登録ヲ出願スルトキハ先ノ届出ノ日ニ於テ登録ヲ出願シタルモノト看做ス

工業所有權ニ付帝國ト相互保護ニ關スル條約アル國ニ於テ萬國博覽會ノ開設アルニ當リ其ノ國ニ於テ出品ニ對シ與ヘタル登録願保護ノ期間ハ帝國內ニ於テモ有效トス

第二十一條 實用新案登録ノ出願アリタルトキハ特許局長ハ特許局審査官ヲシテ之ヲ審査セシムヘシ

第二十二條 特許局審査官ニ於テ査定ヲ爲シタルトキハ特許局長ハ其ノ査定ヲ出願人ニ送付スヘシ

第二十三條 特許局審査官ハ第二條及第十八條ノ規定ニ該當スルヤ否ニ付審査スヘシ但シ第一條ノ規定ニ該當セサルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ理由トシテ登録拒絶ノ査定ヲ爲スヘシ

第二十四條 登録拒絶ノ査定ヲ受ケタル者之ニ不服ナルトキハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ特許局ニ再審査ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ前審査ニ關與セサル特許局審査官ヲシテ之ヲ審査セシムヘシ

前條但書ニ依ル査定ニ對シ不服アル者再審査ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ特許局審査官ハ其ノ理由ニ付テモ亦審査スヘシ

第二十五條 第三十八條及第三十九條ノ規定ハ審査ニ之ヲ準用ス

第二十六條 登録スヘシトノ査定ヲ受ケタル者其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ登録ヲ請求スルトキハ特許局長ハ其ノ實用新案ヲ登録シ登録證ヲ下付スヘシ

第二十七條 實用新案ノ登録ヲ請求スル者ハ一實用新案ニ付一物品毎ニ登録料金十五圓ヲ納ムヘシ

實用新案權存續期間ノ延長ヲ請求スル者ハ一實用新案ニ付一物品毎ニ登録料  
第二類 實用新案法  
七百三十九

金三十圓ヲ納ムヘシ

第二十八條 實用新案ニ關スル登録ハ實用新案原簿ニ之ヲ爲スヘシ

第二十九條 登録實用新案ニ關スル書類ノ謄本、登録證ノ複本、證明、圖面ノ調製又ハ書類ノ閱覽ヲ要スル者ハ其ノ事由ヲ疏明シ之ヲ特許局ニ請求スルコトヲ得但シ祕密ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 特許局ハ實用新案公報ヲ發行スヘシ

實用新案公報ニハ登録實用新案ニ關スル重要ナル事項ヲ掲載スヘシ

第四章 審判及出訴

第三十一條 登録實用新案カ第一條第二條又ハ第十八條ノ規定ニ違フモノナルコトヲ發見シタル者ハ特許局ニ無効ノ審判ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條 登録實用新案カ互ニ撞著スルヤ否又ハ登録實用新案ト實用新案ノ登録ヲ受ケサル物品ト撞著スルヤ否ニ付利害關係人ハ特許局ニ撞著ノ審判ヲ請求スルコトヲ得

第三十三條 審判ノ請求ハ審判請求書ヲ差出シテ之ヲ爲スヘシ審判請求書ニハ一定ノ申立及理由ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十四條 特許局ニ於テ審判請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ被請求人ニ送付シ相當ノ期間ヲ指定シ答辯書ヲ差出サシムヘシ  
特許局ハ必要ト認ムルトキハ相當ノ期間ヲ指定シ請求人又ハ被請求人ヲシテ辯駁書又ハ答辯書ヲ差出サシムルコトヲ得

第三十五條 審判ハ審判官三人又ハ五人ノ合議ニ依リ之ヲ行ヒ審判官中一人ヲ審判長トス

第三十六條 審判長ハ職權又ハ當事者ノ申立ニ依リ口頭審理ヲ爲スコトヲ得  
口頭審理ハ之ヲ公開ス但シ安寧秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 審判請求人又ハ被請求人成規又ハ指定ノ期間内ニ答辯書又ハ辯駁書ヲ差出サス其ノ他指定ノ手續ヲ爲サス又ハ口頭審理期日ニ出頭セサルトキ

第二類 實用新案法



ハ審判長ハ直ニ審判ヲ終結スルコトヲ得

第三十八條 審判ニ關シ必要アルトキハ特許局ハ職權又ハ當事者ノ申立ニ依リ證據調ヲ爲シ且當事者ノ申立サル事實ヲ斟酌スルコトヲ得

前項證據調ハ區裁判所又ハ臺灣地方法院其ノ他裁判事務ヲ行フ官廳ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

第三十九條 證據調ニ付テハ民事訴訟法中證據調ニ關スル規定ヲ準用ス但シ特許局ニ於テ爲ス證據調ニ關シテハ罰金ノ言渡ヲ爲シ又ハ勾引ヲ命スルコトヲ得ス

第四十條 審判ニ關スル費用ノ負擔ハ終局審決ニ依リ之ヲ定ム費用ノ負擔ニ付テハ民事訴訟法中訴訟費用ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十一條 審決アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ當事者ニ送付スヘシ

第四十二條 終局審決ニ對シ不服アル者ハ其ノ審決カ法律ヲ適用セス又ハ不當ニ適用シタルコトヲ理由トスルトキニ限り審決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ六十

日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ出訴及裁判ニ付テハ民事訴訟ノ上告及其ノ裁判ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十三條 大審院ニ於テ出訴ヲ理由アリトスルトキハ原審決ヲ破毀シ更ニ審判ヲ爲サシムル爲事件ヲ特許局ニ差戻スヘシ

大審院ニ於テ裁判ヲ爲スニ當リ法律ノ點ニ付表シタル意見ハ其ノ事件ニ關シ特許局ヲ羈束スルモノトス

第四十四條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ付實用新案權ニ關シ爭アル場合ニ於テ裁判所ハ第三十一條又ハ第三十二條ノ請求ニ依ル審決ノ確定ニ至ル迄其ノ訴訟ヲ中止スルコトヲ得

第四十五條 審判及出訴ノ費用額ニ關シテハ民事訴訟費用法ヲ準用シ特許局長請求ニ依リ之ヲ決定ス

前項ノ決定ハ強制執行ニ關シテハ公證人ノ作りタル債務名義ト看做ス但シ其  
第二類 實用新案法  
七百四十三

ノ執行力アル正本ハ特許局官吏之ヲ付與ス

第五章 罰則

第四十六條 實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ヲ偽造、模造シ又ハ偽造品、模造品ヲ販賣、擴布若ハ使用シタル者ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

實用新案ノ登録ヲ受ケタル物品ト同一又ハ類似ノモノナルコトヲ知り之ヲ外國ヨリ輸入シタル者ハ罰前項ニ同シ

本條ノ犯罪ハ實用新案權者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

第四十七條 前條ノ場合ニ於テハ其ノ偽造品、模造品、輸入品ハ之ヲ沒收シ實用新案權者ニ給付ス

第四十八條 詐偽ノ所爲ヲ以テ實用新案ノ登録ヲ受ケタル者又ハ實用新案ノ登録ヲ受ケサル物品又ハ其ノ包装上ニ實用新案登録ノ標記ヲ附シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ十五日以上

六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

實用新案ノ登録ヲ受ケサル物品ヲ販賣又ハ擴布スル爲廣告、看板、引札等ニ於テ實用新案登録品タルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者ハ罰前項ニ同シ

第四十九條 證人鑑定人又ハ通事ニシテ特許局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル區裁判所又ハ臺灣地方法院其ノ他裁判事務ヲ行フ官廳ニ對シ偽證又ハ詐偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ陳述ヲ爲サシメタル者ハ罰前項ニ同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ查定又ハ審決ニ至ラサル前特許局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル區裁判所又ハ臺灣地方法院其ノ他裁判事務ヲ行フ官廳ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

第五十條 特許局ヨリ證人、鑑定人又ハ通事トシテ呼出サレタル者正當ノ理由

第二類 實用新案法

ナクシテ呼出ニ應セス又ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第五十一條 本法ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十二條 左ノ場合ニ於テハ發明特許又ハ意匠登録ノ出願ヲ爲シタル日ヲ以

テ第十四條及第十八條ノ適用上實用新案ノ登録出願ノ日ト看做ス

- 一 本法施行前一箇年以内ニ於テ發明特許又ハ意匠登録ヲ出願シ本法施行前特許スヘカラス又ハ登録スヘカラストノ査定ヲ受ケタル者本法施行後三十日以内ニ其ノ發明又ハ意匠ニ係ル物品ニ付實用新案ノ登録ヲ出願シタルトキ

- 二 本法施行前發明特許又ハ意匠登録ヲ出願シ本法施行後ニ於テ特許スヘカラス又ハ登録スヘカラストノ査定ヲ受ケタル者其ノ査定ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ發明又ハ意匠ニ係ル物品ニ付實用新案ノ登録

ヲ出願シタルトキ

●實用新案法施行規則

(明治三十八年四月二十九日農商務省令第十四號)

實用新案法施行規則左ノ通相定ム

實用新案法施行規則

第一章 總則

第一條 實用新案ニ關シ出願、請求、届出等ヲ爲ス者ハ一件毎ニ書面一通ヲ作リ住所及差出ノ年月日ヲ記載シ之ニ署名捺印シテ差出スヘシ但シ書類ノ謄本、圖面ノ調製又ハ書類、雛形若ハ見本閱覽ノ請求ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

關係人又ハ相手方アル場合ニ於テハ其ノ員數ニ應スル副本ヲ添附スヘシ

第二條 書面ハ日本語ヲ以テ明瞭ニ之ヲ認ムヘシ

委任狀、國籍證明書等ニシテ外國語ヲ以テ認メタルモノニハ其ノ譯文ヲ添附

第二類 實用新案法施行規則

スヘシ

第三條 登録出願後又ハ登録後其ノ出願又ハ登録實用新案ニ關シ書面ヲ差出ストキハ之ニ其ノ願書番號又ハ登録番號及實用新案ノ名稱ヲ記載シ審判請求中ノ事件ニ關シ書面ヲ差出ストキハ之ニ審判番號ヲ記載スヘシ

第四條 書留郵便ヲ以テ實用新案ニ關スル願書、請求書、實用新案法第二十條第一項ノ規定ニ依ル届書及實用新案法又ハ本則ノ規定ニ依リ期間ヲ定メタル書類ヲ差出シタルトキハ其ノ書類ノ差出日時ハ發送郵便局ヨリ交付シタル書留郵便物受取證ニ記載シタル日時ニ依リ之ヲ定ム

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル書類、雛形又ハ見本ハ之ヲ受理セス

- 一 實用新案法又ハ本則ニ定メタル方式ニ違背シタルモノ
- 二 登録税又ハ手数料ヲ納付セサルモノ
- 三 實用新案法若ハ本則ニ定メタル期間又ハ實用新案法若ハ本則ノ規定ニ依リ特許局長又ハ審判長ノ定メタル期日若ハ期間ヲ過キタルモノ

特許局ニ於テ受理シタル書類、雛形又ハ見本カ前項第一號若ハ第二號ニ該當スルトキ又ハ不明瞭若ハ不完備ナルトキハ特許局長又ハ審判長ハ其ノ訂正、補充又ハ改造ヲ命スルコトヲ得但シ出願、請求、届出等ノ要旨ヲ變更スルモノハ此ノ限ニ在ラス

書損及之ニ類スル著シキ誤謬ヲ訂正又ハ補充スルハ出願、請求、届出等ノ要旨ヲ變更スルモノト看做サス

書損及之ニ類スル著シキ誤謬アルトキハ特許局長又ハ審判長ハ適宜之ヲ訂正又ハ補充スルコトヲ得

第六條 實用新案ニ關スル出願、請求、届出等ヲ爲シタル者ハ其ノ差出シタル書類、雛形又ハ見本ヲ訂正、補充又ハ改造スルコトヲ得但シ出願、請求、届出等ノ要旨ヲ變更スルモノ又ハ審査若ハ審判ノ繫屬中ニ在ラサルモノハ此ノ限ニ在ラス

審査又ハ審判ノ繫屬中書損及之ニ類スル著シキ誤謬ヲ訂正又ハ補充スルハ出  
第二類 實用新案法施行規則  
七百四十九

願、請求、届出等ノ要旨ヲ變更スルモノト看做サス

第七條 外國人又ハ外國法人ニシテ實用新案ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ストキハ外國人ニ在リテハ國籍證明書、外國法人ニ在リテハ國籍及法人タルコトノ證明書ヲ差出スヘシ但シ帝國内又ハ萬國工業所有權保護同盟條約國內ニ住所又ハ現實且眞誠ナル工業的若ハ商業的ノ營業所ヲ有スルコトヲ證明スル者ハ國籍證明書ヲ差出スコトヲ要セス

第八條 工業所有權ニ付帝國ト相互保護ニ關スル條約アル國以外ノ國ノ臣民、人民又ハ法人ニシテ實用新案ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ストキハ帝國内又ハ萬國工業所有權保護同盟條約國內ニ住所又ハ現實且眞誠ナル工業的若ハ商業的ノ營業所ヲ有スルコトノ證明書ヲ差出スヘシ

第九條 同時ニ數箇ノ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テ前二條ニ依リ差出ス證明書ハ一通ヲ差出シ之ヲ添附セサル書面ニハ其ノ旨ヲ附記スルコトヲ得

第十條 前三條ノ場合ニ於テ他ノ事件ニ付特許局ニ對シ既ニ證明書ヲ差出シタルモノナルトキ其ノ他特許局長ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ證明書ノ差出ヲ免除スルコトヲ得

第十一條 實用新案ヲ承繼シタル者ヨリ其ノ承繼シタル實用新案ノ登録前出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ストキハ其ノ承繼ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ但シ其ノ事由ヲ附記シ被承繼者ト連署スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 代理人カ實用新案ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ストキハ其ノ代理權ヲ證明スル書面ヲ差出スヘシ但シ法人ノ代表者其ノ法人ノ名義ヲ以テスルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 實用新案法第三條第一項ニ依リ出願ノ際届出タル代理人ノ代理權ハ別段ノ明記ナキトキハ實用新案ノ登録後尙ホ存續スルモノト推定ス

第十四條 實用新案法第四條ニ依リ代理人ノ改任ヲ命シタルトキハ特許局長ハ其ノ旨ヲ代理人ニ通知スヘシ

第二類 實用新案法施行規則

第十五條 數人共同シテ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ストキ又ハ實用新案權ヲ共有スルトキハ代表者一人ヲ選定シテ其ノ旨ヲ届出テ又ハ之ヲ書類ニ記載スヘシ其ノ届出又ハ記載ナキトキハ各人互ニ代表スルモノト看做ス

前項ノ代表者ハ處分行爲ヲ除ク外特許局ニ對シ全權ヲ有スルモノト看做ス

第十六條 實用新案ニ關スル出願、請求、届出等ヲ爲シタル者、實用新案權者又ハ其ノ代理人若ハ代表者カ其ノ氏名、名稱、住所若ハ印章ヲ變更シタルトキ又ハ其ノ代理人若ハ代表者ニ變更アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ届出ツヘシ  
氏名、名稱又ハ印章變更ノ届書ニハ證明書ヲ添附スヘシ

第九條及第十條ノ規定ハ前項ノ證明書ニ關シ之ヲ準用ス

第十七條 特許局長又ハ審判長ハ職權ヲ以テ又ハ當事者ノ請求ニ依リ本則ニ定メタル期間又ハ實用新案法若ハ本則ノ規定ニ依リ特許局長又ハ審判長ノ定メ

タル期日若ハ期間ヲ變更スルコトヲ得但シ相手方其ノ他ノ關係人アル事件ノ期日又ハ期間ノ變更ノ請求ニ對シテハ當事者合意ノ申立ニ依リ又ハ顯著ナル理由アリト認ムル場合ノ外之ヲ許可セス

第十八條 實用新案ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ニ關シ特許局長又ハ審判長ノ命ニ依リ差出スヘキ圖面ノ調製ヲ特許局長ニ請求シ成規ノ手数料ヲ納付シタルモノニ付テハ其ノ手数料納付ヨリ特許局ニ於テ圖面ノ發送ヲ爲ス迄ノ期間ハ特許局長又ハ審判長ノ指定シタル期間ニ之ヲ算入セス

第十九條 圖面調製ノ請求ヲ爲ス者ハ同時ニ雛形、見本又ハ下圖ヲ差出スヘシ但シ特許局ニ存スル雛形、見本又ハ圖面ニ依リ調製スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 差出シタル雛形、見本又ハ證據物件ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ差出ノ際豫メ其ノ旨ヲ申出ツヘシ

前項ノ申出ヲ爲シタル者ハ事件確定ノ日ヨリ六十日以内ニ其ノ受取ノ手續ヲ

第二類 實用新案法施行規則

爲スヘシ但シ雛形丈ハ見本ニシテ特許局長ニ於テ必要ト認ムルモノハ之ヲ還付セズ

差出人前項ノ手續ヲ怠ルトキハ特許局長ハ適宜之ヲ處分スヘシ

第二十一條 實用新案ニ關スル査定、審決又ハ決定ノ送付ハ査定書、審決書又ハ決定書ノ謄本ヲ以テ之ヲ爲ス

第二十二條 特許局ノ使丁ヲ以テ爲ス書類ノ送付ヲ受ケタル者ハ其ノ受領ノ日時ヲ記載シタル受取證ヲ使丁ニ交付スヘシ

第二十三條 實用新案法第三條第一項ノ届出ヲ怠リタル者ニ對スル書項ノ送付ハ郵便ニ付シタル日ヲ以テ完了シタルモノト看做ス

第二十四條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ特許局長又ハ審判長ハ官報ヲ以テ其ノ事由及書類ノ要領ヲ公告スヘシ此ノ場合ニ於テハ官報掲載ノ日ヨリ二十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ書類ノ送付アリタルモノト看做ス

第二十五條 登録實用新案ニ關スル雛形又ハ見本ノ閲覧ヲ要スル者ハ其ノ事由ヲ説明シ之ヲ特許局ニ請求スルコトヲ得但シ秘密ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條 實用新案法第二十條第一項ノ規定ニ依ル届書ニハ圖面ヲ添附スヘシ

第二十七條 實用新案法又ハ本則ノ規定ニ依リ出願、請求又ハ届出ヲ爲スニ當リ登録料又ハ手数料ヲ納付スヘキ場合ニハ出願、請求又ハ届出ノ書類ニ其ノ料金ニ相當スル収入印紙ヲ貼附シテ差出スヘシ但シ口頭ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ特許局官吏ノ作成シタル書面ニ収入印紙ヲ貼附スヘシ

第二章 出願及審査

第二十八條 實用新案登録願書ニハ實用新案ノ名稱、登録請求範圍、考案者ノ氏名、住所及職業ヲ記載スヘシ

第二十九條 實用新案法第二十條第一項ノ規定ニ依ル實用新案登録願書ニハ博  
第二類 實用新案法施行規則 七百五十五

覽會又ハ共進會ニ於テ物品ヲ受領シタル日時ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ  
實用新案法第二十條第二項ノ規定ニ依ル登錄願書ニハ其ノ出願ニ係ル實用新  
案ニ付萬國博覽會ヲ開設シタル國ニ於テ與ヘタル登錄願保護期間ヲ有スルコ  
トノ證明書ヲ添附スヘシ

第三十條 實用新案法第十九條ノ規定ニ依ル實用新案登錄願書ニハ發明特許又  
ハ意匠登錄ノ出願ニ對スル最初ノ査定書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第三十一條 圖面ハ左ノ各號ニ準據シテ之ヲ調製シ實用新案ヲ簡明ニ表示シ其  
ノ說明ヲ附記スヘシ但シ其ノ說明ハ之ヲ別紙ニ記載シ圖面ノ一部トシテ差出  
スコトヲ得

- 一 圖面ハ強靱ニシテ平滑ナル白紙又ハ覆<sup>トレーシング、クロース</sup>寫<sup>布</sup>ヲ用井凡ソ其ノ上部曲  
尺六分、下部四分、左二分、右一寸四分ヲ餘シ縱曲尺八寸橫四寸八分ノ  
面内ニ濃墨ニテ鮮明ニ調製シ著色スヘカラス
- 二 圖ノ離レタルモノハ一箇毎ニ番號ヲ附シ同一部ニシテ數圖ニ亘ルモノア

ルトキハ同一ノ符號ヲ用井番號及符號ハ濃墨ニテ明瞭ニ記載スヘシ

三 符號ヲ直チニ圖ニ施スコト能ハサルトキハ其ノ部分ヨリ少シク離シテ之  
ヲ記載シ點線又ハ細線ヲ以テ其ノ部分ト符號トヲ接續シ陰ヲ施シタル上  
ニハ符號ヲ記載スルヲ得ス其ノ止ムヲ得サル場合ニ在リテハ符號ヲ記載  
スヘキ部分ニ限リ陰ヲ施スヘカラス

四 截斷面ヲ現ハスニハ平行線ヲ斜ニ引キ截斷面中部分ヲ異ニスルモノハ各  
方向ヲ異ニシタル斜線ヲ用ユヘシ

五 凹凸ノ部分ヲ明瞭ナラシムル圖面ニ陰ヲ施ス必要アルトキハ線ヲ用井簡  
明ニ之ヲ畫キ射影ヲ施スヲ避クヘシ

六 圖面ニハ出願人署名捺印シ本則ニ定ムル以外ノ事項ヲ記載スヘカラス

第三十二條 雛形及見本ハ堅牢ナル材料ヲ用井曲尺一尺立方以内ニ於テ之ヲ作  
ルヘシ但シ此制限ニ從ヒ難キ雛形及見本ニ付テハ此ノ限ニ在ラス  
雛形及見本方破損、變化又ハ紛失シ易キモノナルトキハ差出人ニ於テ相當ノ

第二類 實用新案法施行規則



手當ヲ施スヘシ

第三十三條 解説書ニハ實用新案ニ付詳細ナル説明ヲ記載スヘシ

第三十四條 實用新案登録願ヲ分割セムトスル者ハ其ノ分割部分ニ對シ新ナル

出願ヲ爲シ同時ニ前出願ヲ訂正スヘシ

前項ノ場合ニ於ケル新ナル出願ハ最初出願ノ日ニ於テ爲シタルモノト看做

ス

第三十五條 發明特許又ハ意匠登録ヲ出願シタル者ハ其ノ出願ニ對シ最初ノ查

定ヲ受ケサル場合ニ限り其ノ出願ヲ實用新案登録願ニ變更ノ請求ヲ爲スコト

ヲ得此ノ場合ニ於テハ前出願ヲ訂正スヘシ

前項ニ依リ變更シタル實用新案登録願ハ最初出願ノ日ニ於テ爲シタルモノト

看做ス

第三十六條 實用新案登録願書又ハ前條ノ變更請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ

願書番號ヲ出願人ニ通知スヘシ

第三十七條 同日ノ出願ニ係ル同一又ハ類似ノ實用新案アリタルトキハ特許局

長ハ一定ノ期間ヲ指定シ其ノ期間内ニ協議ヲ了シ権利者ヲ定メ届出ツヘキ旨

ヲ關係出願人ニ通知スヘシ

前項ノ期間内ニ届出オキトキハ協議調ハサルモノト看做ス

第三十八條 登録前其ノ出願ノ實用新案ニ關スル權利ヲ承繼シタル者ハ願書ノ

名義變更ヲ特許局長ニ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第十一條ノ規定ヲ

準用ス

前項ニ因リ願書ノ名義變更アリタルトキハ其ノ出願ニ關シ差出シタル請求書

其ノ他ノ書類ノ名義モ變更アリタルモノト看做ス

第三十九條 査定書ニハ左ノ事項ヲ記載シ審査官之ニ署名スヘシ

一 願書番號

二 實用新案ノ名稱

三 出願人又ハ再審査請求人ノ氏名又ハ名稱

第二類 實用新案法施行規則

- 四 查定ノ主文及理由
- 五 查定ノ年月日

第三章 登録

第四十條 實用新案權存續期間ノ延長ヲ請求セムトスル者ハ存續期間満了ノ日ヨリ一箇月以前ニ登録請求書ヲ特許局長ニ差出スヘシ

前項ノ期間満了ノ後ト雖存續期間満了以前ニ在リテハ特ニ手数料ヲ納付シ前項請求書ノ受理ヲ請求スルコトヲ得

登録請求書ニハ登録證ヲ添附スヘシ

第四十九條 第一項但書ノ規定ハ本條ノ請求ニ關シ之ヲ準用ス

第四十一條 登録料ノ納付アリタルトキハ特許局長ハ其ノ領收證ヲ交付スヘシ

第四十二條 實用新案權存續期間延長ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ其ノ登録ヲ了セシ後第八號書式ニ依ル登録證ヲ下付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ特許局長ハ原登録證ニ其ノ旨ヲ附記シ之ヲ下付スルコトヲ得

第四十三條 登録證ハ前條又ハ第四十五條第二項ニ依ル下付及第四十七條ニ依ル再下付ノ場合ヲ除クノ外第九號書式ニ依リ之ヲ作成シ圖面ヲ添附スヘシ

第四十四條 登録前其ノ出願ノ實用新案ニ關スル權利ヲ承繼シタル者ニシテ其ノ登録前願書ノ名義變更ノ請求ヲ爲サザリシ者ハ登録證ノ名義變更ヲ特許局長ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ請求書ニ承繼ヲ證スル書面及登録證ヲ添附シ之ヲ特許局長ニ差出スヘシ但シ承繼ヲ證スル書面ハ確定日付アル私署證書又ハ公正證書ヲ用ユヘシ

第四十九條第二項ノ規定ハ本條ノ請求ニ關シ之ヲ準用ス

第四十五條 前條第四十條及第四十九條ノ場合ニ於テ登録證又ハ登録證複本ヲ差出スコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ證明シ登録證ノ名義變更又ハ登録ノ請

第二類 實用新案法施行規則

求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由アリト認ムルトキハ特許局長ハ新ニ登録證ヲ作製シテ之ヲ請求人ニ下付スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登録證又ハ登録證複本ハ無効トス此ノ場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ實用新案公報及官報ヲ以テ公告スヘシ

第四十六條 登録證複本、第四十五條第二項又ハ第四十七條ニ依リ下付スル登録證ニハ第五十三條第一號乃至第三號及第四號、第十號、第十六號、第十七號又ハ第十八號ニ規定シタル事項、讓渡ニ付シタル制限アルトキハ其ノ制限共有者ノ持分ノ定アルトキハ其ノ持分實用新案權ノ質入アルトキハ其ノ質入ニ關シ第九條ニ規定シタル事項ヲ記載シ登録證複本ニ付テハ尙ホ其ノ複本ナルコト及其ノ番號ヲ記載スヘシ

第四十七條 登録證力亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ疏明シ登録證ノ再下付ヲ請求スルコトヲ得

第四十八條 無効審決カ確定シタルトキハ登録證又ハ登録證複本ノ所持者ハ遲滞ナク其ノ登録證又ハ登録證複本ヲ返納スヘシ

第四十九條 實用新案法第十二條第二項ニ定メタル登録ヲ受ケムトスル者ハ請求書ヲ作り登録原因ヲ證スル書面及登録證ヲ添附シテ之ヲ特許局長ニ差出スヘシ但シ實用新案權ノ共有者又ハ制限付讓受人ニシテ登録證ヲ所持セサル者ノ承繼人ハ其ノ被承繼人ノ下付ヲ受ケタル登録證複本ヲ差出シテ登録證ノ差出ニ代フルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ登録シタル後登録事項ヲ登録證又ハ登録證複本ニ記載シ之ヲ還附スヘシ

第五十條 實用新案法第十五條第二項ニ依ル實施許諾ノ登録ヲ請求セムトスル者ハ請求書ヲ作り實施許諾ヲ證スル書面及登録證ヲ添附シ之ヲ特許局長ニ差出スヘシ但シ承諾ヲ爲シタル旨、制限ノ有無及其ノ範圍ヲ附記シ許諾者ト連署スル場合ニ在リテハ實施許諾ヲ證スル書面ノ添附ヲ要セス

第二類 實用新案法施行規則

前條第一項但書及第二項ノ規定ハ本條ノ請求ニ關シ之ヲ準用ス

第五十一條 裁判所ニ於テ實用新案權ニ對シ差押、假差押又ハ假處分アリタルトキハ當事者ハ其ノ登録ヲ請求スルコトヲ得其ノ登録後變更者ハ消滅アリタル場合亦同シ

前項ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ請求書ニ登録原因ヲ證スル書面及其ノ謄本ヲ添附シ特許局長ニ差出スヘシ  
前項ノ請求アリタルトキハ特許局長ハ之ヲ登録シ登録原因ヲ證スル書面ニ其ノ旨ヲ記入シ之ヲ請求人ニ還付スヘシ

第五十二條 第四十四條第四十九條又ハ第五十條ニ依リ請求ヲ爲サムトスル場合ニ於テ承繼、登録原因又ハ實施許諾ヲ證スル書面ノ還付ヲ受ケムトスルトキハ實用新案權者又ハ請求人カ署名捺印シテ原本ト相違ナキコトヲ認證シタル謄本ヲ添附シテ差出スヘシ

第五十三條 實用新案原簿ニハ左ノ事項ヲ登録スヘシ

一 登録番號

二 實用新案ノ名稱

三 實用新案權者ノ氏名若ハ名稱及住所、外國人又ハ外國法人ニ在リテハ並其ノ國籍

四 實用新案權存續期間ノ延長ニ付テハ其ノ事由

五 實用新案權ノ相續ニ付テハ其ノ事由

六 實用新案權ノ讓渡ニ付テハ其ノ事由、制限ヲ付シタルトキハ其ノ制限

七 實用新案權ノ共有ニ付テハ其ノ事由、持分ノ定アルトキハ各共有者ノ持分

八 相續、讓渡、共有以外ノ原因ニ因ル實用新案權ノ移轉ニ付テハ其ノ事由

九 實用新案權ノ質入ニ付テハ債權額、其ノ利息、辨濟期、質權ノ順位及質權

設定ノ年月日

第二類 實用新案法施行規則

七百六十五

十 實用新案權ノ實施許諾ニ付テハ其ノ事由、制限ヲ付シタルトキハ其ノ制限

十一 實用新案權ノ差押、假差押、假處分又ハ其ノ變更若ハ消滅ニ付テハ其ノ事由

十二 帝國內ニ住所ヲ有セサル實用新案權者ノ代理人ノ氏名及住所

十三 第十五條ニ依リ届出テ又ハ書類ニ記載シタル代表者ノ氏名及住所

十四 實用新案ニ係ル審判ノ請求及其ノ確定ニ付テハ其ノ事由及年月日

十五 實用新案權ノ消滅ニ付テハ其ノ事由及年月日

十六 登録證ノ再下付ニ付テハ其ノ事由及年月日

十七 登録證複本ノ下付ニ付テハ其ノ事由、年月日並請求人ノ氏名若ハ名稱及住所

十八 第四十五條ニ依ル登録證ノ下付ニ付テハ其ノ事由及年月日

十九 登録ノ年月日

第五十四條 登録事項ニ變更ヲ生シ又ハ其ノ事項カ消滅シタルトキハ其ノ變更

又ハ消滅ノ登録ヲ爲スヘシ

第四章 審判

第五十五條 審判請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 請求人及被請求人ノ氏名若ハ名稱及住所

二 審判事件ノ表示

三 一定ノ申立及理由

答辯書又ハ辯駁書ニハ前項第一號及第二號ノ外答辯又ハ辯駁ノ要旨及理由ヲ

記載スヘシ

第五十六條 數人ノ所有ニ係ル一實用新案權ニ付實用新案權者ニ對シ審判ヲ請

求セムトスルトキハ其ノ各所有者ヲ以テ被請求人ト爲スヘシ

第五十七條 審判請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ番號ヲ當事者ニ通知スヘシ

第五十八條 審判請求後實用新案權カ他人ニ移轉スルモ其ノ審判ニ影響ヲ及ボ

第二類 實用新案法施行規則

スコトナシ

七百六十八

前項ノ場合ニ於テ其ノ移轉カ全部ナルトキハ承繼人ハ相手方ノ同意ヲ得テ被承繼人ニ代リ當事者ト爲リ其ノ移轉カ一部ナルトキハ承繼人ハ相手方ノ同意ヲ得テ被承繼人ト共ニ當事者ト爲リ以後ノ手續ヲ履行スルコトヲ得但シ承繼カ相續ニ原因スルトキハ其ノ承繼人ハ當然當事者ト爲ルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ其ノ承繼及相手方ノ同意ヲ證スル書面ヲ添ヘ其ノ旨ヲ審判長ニ届出ツヘシ但シ前項但書ノ場合ニ於テハ相手方ノ同意ヲ證スル書面ノ添附ヲ要セス

第五十九條 審判長必要ト認ムルトキハ當事者ニ對シテ訊問書ヲ發シ相當ノ期間内ニ答辯書ヲ差出サシムルコトヲ得

審判長カ前項ノ答辯書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ相手方ニ送付スヘシ關係人カ任意ニ差出シタル答辯書、辯駁書其ノ他ノ申立書ニシテ審判長カ必要ト認メタル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ相手方ニ對シ答辯書又ハ意見書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第六十條 審判請求書、答辯書、辯駁書、意見書其ノ他ノ申立書及其ノ訂正又ハ追加ニ關スル書類ヲ差出ストキハ之ニ記載シタル事實ノ證明ニ必要ナル證據物件ヲ添附スヘシ

第六十一條 他人ノ間ニ成立セル審判ノ結果ニ因リ權利上利害關係ヲ有スル者ハ其ノ審判ノ終結スル迄一方ヲ補助スル爲其ノ審判ニ參加セムコトヲ特許局ニ請求スルコトヲ得

參加人ハ其ノ參加ノ時ニ於ケル審判ノ程度ヲ妨ケサル限ハ其ノ主タル請求人又ハ被請求人ノ爲ニ攻撃又ハ防禦ノ方法ヲ施用シ其ノ他審判ニ關スル總テノ行爲ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ補助スル當事者ノ行爲ト抵觸スルモノハ其ノ效ナシ

第六十二條 參加ノ請求ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ審判長ニ差出シテ之ヲ爲スヘシ

第二類 實用新案法施行規則

七百六十九

一 當事者

二 審判事件ノ表示

三 利害關係

四 參加ノ申立

審判長前項ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ヲ當事者ニ送付スヘシ

第六十三條 請求人又ハ被請求人參加ニ付異議ヲ述ルトキハ當事者及參加請求人ヲ審訊シタル後參加ノ許否ヲ決ス

第六十四條 特許局ハ當事者ノ雙方又ハ一方ノ同一ナル審判ニ付其ノ審理若ハ審決ヲ併合シ又ハ之ヲ分離スルコトヲ得

第六十五條 口頭審判ヲ爲ストキハ審判長ハ期日ヲ定メ之ヲ當事者雙方ニ通知スヘシ

第六十六條 口頭審判ニ於テハ日本語ヲ用ユヘシ但シ日本語ニ通セサル者ハ通事ヲ用エルコトヲ得

第六十七條 口頭審判ニ於テハ調書ヲ作り審判長及之ヲ作りタル官吏署名捺印スヘシ

第六十八條 審判ヲ請求シタル者ハ審判請求書カ相手方ニ送付セラレサル間ハ相手方ノ承諾ナクシテ請求ヲ取下クルコトヲ得但シ相手方ニ送付セラレタル後ハ相手方ノ承諾ヲ經スシテ其ノ請求ヲ取下クルコトヲ得ス

審判請求書カ相手方ニ送付セラレタル後ニ於テ請求ノ取下アリタルトキハ特許局長ハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スヘシ

第六十九條 審決書ニハ左ノ事項ヲ記載シ審判官之ニ署名スヘシ

一 審判番號

二 當事者ノ氏名若ハ名稱及住所

三 審判事件ノ表示

四 當事者陳述ノ要領

五 審決ノ主文及理由

第二類 實用新案法施行規則

六 審決ノ年月日

第七十條 實用新案法第四十二條ニ依リ大審院ニ出訴シタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許局長ニ届出ツヘシ

第七十一條 審判及出訴ニ關スル費用額ノ決定ヲ受ケムトスル者ハ請求書ヲ作リ費用計算書其ノ他必要ナル書類ヲ添附シテ之ヲ特許局長ニ差出スヘシ  
特許局長必要ト認ムルトキハ相手方ノ意見ヲ聞クコトヲ得

費用額ノ決定アリタルトキハ特許局長ハ其ノ決定ヲ當事者雙方ニ送付スヘシ

第七十二條 實用新案法第四十五條第二項但書ニ依リ執行力アル正本ヲ付與スル特許局官吏ハ特許局審判課ニ於ケル特許局屬トス

附 則

第七十三條 實用新案法第五十二條ノ規定ニ依ル實用新案登録願書ニハ發明特許又ハ意匠登録ノ出願ニ對スル査定書ヲ添附スヘシ

第七十四條 本則ハ實用新案法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(書式)

第一號

實用新案登録願

收入  
印紙

一 實用新案ノ名稱

一 登録請求範圍

一 考案者氏名住所及職業 (出願人カ考案者ナルトキハ記載スルヲ要セス)  
私(私共)儀別紙圖面ニ記載スル物品ニ付實用新案登録相受度 (實用新案法第十九條又ハ第五十二條ニ依ル出願ナルトキハ別紙査定書又ハ別紙査定書ノ謄本同二十條ニ依ル出願ナルトキハ別紙證明書) 相添此段及出願候也

本籍(國籍)住所職業

第二類 實用新案法施行規則

七百七十三



年月日

特許局長氏名殿

第二號

七百七十四  
氏名印

收入印紙

存續期間延長登録請求書

一登録番號

一實用新案ノ名稱

私(私共)儀前記實用新案權ニ付存續期間延長ノ登録相受度別紙登録證(登録證  
複本證明書)相添此段及請求候也

本籍(國籍)住所

氏名印

年月日

特許局長氏名殿

第三號

收入印紙

實用新案品出品届

一實用新案ノ名稱

私(私共)儀別紙圖面ニ記載スル實用新案ニ係ル物品ヲ何年何月何日ヨリ何處ニ  
於テ政府(道、何府、何縣)ノ開設スル博覽會(共進會)ニ出品可致候ニ付實用新  
案法第二十條ノ規定ニ依リ此段及御届候也

本籍(國籍)住所

氏名印

年月日

特許局長氏名殿

第四號

收入印紙

出願變更請求書

一願書番號

第二類 實用新案法施行規則

七百七十五

一發明(意匠)ノ名稱

私(私共)儀前記發明特許願(意匠登錄願)ヲ實用新案登錄願ニ變更致度候間實用新案法施行規則第三十五條ニ依リ此段及請求候也

本籍(國籍)住所

年月日

氏名印

特許局長氏名殿

第五號

收入印紙

登錄請求書

一登錄番號

一實用新案ノ名稱

一實用新案權者ノ氏名又ハ名稱

私(私共)儀何某ヨリ前記實用新案權(持分)ヲ相續(讓受)(質取)候ニ付登錄相受

度別紙證明書(及其ノ謄本)並登錄證(登錄證複本)相添此段及請求候也

本籍(國籍)住所

氏名印

特許局長氏名殿

第六號

收入印紙

登錄請求書

一登錄番號

一實用新案ノ名稱

一實用新案權者ノ氏名又ハ名稱

私(私共)儀前記實用新案權ヲ共有ト致候ニ付登錄相受度別紙證明書(及其ノ謄本)並登錄證(登錄證複本)相添此段及請求候也

本籍(國籍)住所

第二類 實用新案法施行規則

年月日

七百七十八

特許局長氏名殿

共有者氏名印

第七號

收入印紙

登錄請求書

一 登錄番號

一 實用新案ノ名稱

一 實用新案權者ノ氏名又ハ名稱

私(私共)儀何某ヨリ前記實用新案權ニ付實施許諾ヲ得候ニ付登錄相受度別紙證明書(及其ノ贈本)竝登錄證(登錄證複本)相添此段及請求候也

年月日

本籍(國籍)住所

氏名印

特許局長氏名殿

第八號

第 號(原 登錄番號)

存續期間延長登錄證

本籍(國籍)住所

氏名(名稱)

一 實用新案ノ名稱

前記實用新案權ニ付存續期間ノ延長ヲ實用新案原簿ニ登錄シ竝ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長氏名印

第九號

第 號

實用新案登錄證

本籍(國籍)住所

氏名(名稱)

第二類 實用新案法施行規則

七百七十九

一 實用新案ノ名稱

前記實用新案ハ特許局審査官ニ於テ登録スヘシト査定シタリ仍テ實用新案原簿ニ登録シ茲ニ本證ヲ下付スルモノ也

年月日

特許局長 氏

名印

●實用新案ニ關スル手数料

(明治三十八年三月十三日) 勅令第五十三號

朕實用新案ニ關スル手数料ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 實用新案ニ關シ出願、請求又ハ届出ヲ爲ス者ハ左ニ掲クル所ニ依リ手数料ヲ納付スヘシ

- 一 登録出願 每一件 金二圓
- 二 再審査請求 每一件 金三圓
- 三 審判請求 每一件 金十二圓
- 四 費用額決定ノ請求 每一件 金五十錢

五 費用額決定ノ執行力アル正本ノ請求 每一件 金五十錢

六 書類謄本ノ請求

謄本十三行二十五字詰一枚ニ付金十錢  
字數一枚ニ滿タサルモノハ一枚トス  
歐文書類ノ謄本ハ百語ニ付金十錢  
百語ニ滿タサルモノ亦同シ

七 登録證複本ノ請求 每一件 金一圓

八 證明ノ請求 每一件 金五十錢

九 圖面調製ノ請求

圖面一枚ニ付金三十錢以上  
金三十圓以下ニ於テ調製ノ難易ニ從ヒ特許局長ノ定ムル金額

十 書類閱覽ノ請求 每一件 金十錢

十一 博覽會又ハ共進會ノ出品ニ關スル届出 每一件 金一圓

第二條 手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

附則

第二類 實用新案ニ關スル手数料

本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●實用新案ニ關シ差出ス請求書ニ要スル手数料

(明治三十八年四月二十九日  
農商務省令第十五號)

實用新案ニ關シ差出ス請求書ニ要スル手数料左ノ通相定ム

第一條 實用新案ニ關シ左ノ請求ヲ爲ス者ハ手数料トシテ下ニ定ムル金額ヲ納

付スヘシ

- 一 登録願書ノ名義變更ノ請求 每一件 金一圓
- 二 出願變更ノ請求 每一件 金一圓
- 三 期日又ハ期間ノ變更ノ請求 每一件 金二十錢
- 四 參加ノ請求 每一件 金三圓
- 五 相續ニ因ル登録證ノ名義變更ノ請求 每一件 金一圓
- 六 相續以外ノ原因ニ因ル登録證ノ名義變更ノ

請求

- 七 登録證再下付ノ請求 每一件 金五圓
- 八 存續期間満了前一箇月以内ニ於ケル存續期間延長登録ノ請求 每一件 金一圓
- 九 差押、假差押、假處分又ハ其ノ變更若ハ消滅ノ登録ノ請求 每一件 金五十錢
- 十 雛形又ハ見本ノ閱覽ノ請求 每一件 金十錢
- 第二條 手数料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

附則

第三條 本令ハ明治三十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●貨幣

●貨幣法

(明治三十年三月二十六日  
法律第十六號)

第二類 實用新案ニ關シ差出ス請求書ニ要スル手数料 貨幣法 七百八十三

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル貨幣法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

貨幣法

第一條 貨幣ノ製造及發行ノ權ハ政府ニ屬ス

第二條 純金ノ量目二分ヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト稱ス

第三條 貨幣ノ種類ハ左ノ九種トス

金貨幣

二十圓

十圓

五圓

銀貨幣

五十錢

二十錢

十錢

白銅貨幣

五錢

青銅貨幣

一錢

五厘

第四條 貨幣ノ算則ハ總テ十進一位ノ法ヲ用井一圓以下ハ一圓ノ百分ノ一ヲ錢

ト稱シ錢ノ十分ノ一ヲ厘ト稱ス

第五條 貨幣ノ品位ハ左ノ如シ

一 金貨幣

純金九百分參和銅一百分

二 銀貨幣

純銀八百分參和銅二百分

三 白銅貨幣

「ニツケル」二百五十分參和銅七百五十分

四 青銅貨幣

銅九百五十分錫四十分亞鉛十分

第六條 貨幣ノ量目ハ左ノ如シ

第二類 貨幣法



ハ青銅貨幣ニシテ著シク磨損シタルモノ其ノ他流通不便ノ貨幣ハ其ノ額面價  
格ヲ以テ無手数料ニテ政府ニ於テ之ヲ引換フヘシ

第十三條 貨幣ニシテ模様ノ認識シ難キモノ又ハ私ニ極印ヲ爲シ其ノ他故意ニ  
毀傷セリト認ムルモノハ貨幣タルノ效用ナキモノトス

第十四條 金地金ヲ輸納シ金貨幣ノ製造ヲ請フ者アルトキハ政府ハ其ノ請求ニ  
應スヘシ

附則

第十五條 從來發行ノ金貨幣ハ此ノ法律ニ依リ發行スル金貨幣ノ倍位ニ通用ス  
ヘシ

第十六條 從來發行ノ一圓銀貨幣ハ金貨幣一圓ノ割合ヲ以テ政府ノ都合ニ依リ  
漸次之ヲ引換フヘシ

前項引換ノ結了マテハ金貨幣一圓ノ割合ヲ以テ無制限ニ法貨トシ其ノ通用  
價ヲ許シ通用禁止ノ場合ニ於テハ六箇月以前ニ勅令ヲ以テ之ヲ公布スヘシ通用

禁止ノ翌日ヨリ起算シ滿五箇年内ニ引換ヲ請求セサルトキハ爾後地金トシテ  
取扱フヘシ

第十七條 從來發行ノ五錢銀貨幣及銅貨幣ハ從前ノ通り通用スヘシ

第十八條 此ノ法律發布以後ハ一圓銀貨幣ノ製造ヲ廢ス但シ右期日以前ニ政府  
ニ輸納シタル銀地金ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 此ノ法律ニ抵觸スル從前ノ法令ハ總テ之ヲ廢止ス

第二十條 此ノ法律ハ第十八條ヲ除ク外明治三十年十月一日ヨリ施行ス

●造幣規則

(明治三十年四月三十日  
勅令第百三十八號)

朕造幣規則ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

造幣規則

第一條 金貨幣ノ製造ヲ請ハントスル者ハ金地金ヲ造幣局ニ輸納スヘシ

第二條 貨幣製造ノ爲受取ル地金ハ品位一千分中金九百九十以上ニシテ其ノ含

第二類 造幣規則



有物ノ性質造幣ニ障害ナキモノニ限ル但シ含有物銅ノミナルトキハ金八百九十八以上トス(三十二年勅令第三十六號ヲ以テ改正)

第三條 貨幣製造ノ爲メ受取ル地金ハ其ノ量百一百分之以上トス但シ金銀地金精製及品位證明規則ニ依リ貨幣ノ製造ヲ請フトキハ此ノ限ニアラス

第四條 輸納ノ地金ハ輸納人又ハ其ノ代理者ヲ立會ハシメ之ヲ秤量シテ預リ證書ヲ交付スシ

第五條 地金ノ品位及性質ハ試験ノ上之ヲ定ム

第六條 地金ノ試験了リタルトキハ勘定書ニ試験表ヲ添ヘ之ヲ輸納人ニ送付スヘシ

第七條 輸納人前條書類ノ送付ヲ受ケ異議ナキトキハ預リ證書ヲ提出シテ貨幣拂渡證書ヲ請求スヘシ但シ異議アル者ハ三日以内ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ此ノ期間内ニ異議ノ申告ヲ爲ササルトキハ承諾シタルモノト見做スヘシ

第八條 輸納人前條ニ依リ異議ノ申告ヲ爲シタルトキハ其ノ輸納地金ヲ返付ス

ヘシ此ノ場合ニ於テハ手数料トシテ地金四貫匁及其ノ端數毎ニ金三圓ヲ徵收ス

第九條 輸納地金ノ溶解減ハ輸納人ノ負擔トス

第十條 輸納地金ノ取扱ハ一般休暇日ノ外三月十六日ヨリ同三十一日マテノ間之ヲ停止ス但シ臨時停止ヲ要スルトキハ大藏大臣之ヲ告示ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●金銀地金精製及品位證明規則

(明治三十年四月三十日勅令第三百三十九號)

朕金銀地金精製及品位證明規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

金銀地金精製及品位證明規則

第一條 造幣局ハ金銀地金ノ精製又ハ品位證明ヲ請フ者アルトキハ本規則ノ定ムル所ニ依リ其ノ精製又ハ證明ヲナスヘシ

第二類 金銀地金精製及品位證明規則

第二條 精製又ハ品位證明ノ爲輸納スル地金ハ品位一千分中金、銀又ハ金銀合計五百以上量目一百匁以上ノモノトス（三十七年勅令第二百二十四號ヲ以テ改正）

第三條 輸納ノ地金ハ輸納人又ハ其ノ代理者ヲ立會ハシメ之ヲ秤量シテ預リ證書ヲ交付スヘシ

金銀混合地金又ハ精製スルニアラサレハ定型塊ト爲シ難キ地金ノ品位證明ヲ請フ者アルトキハ精製ノ上品位ヲ證明ス

第五條 造幣局ニ於テ製造スル定型塊ハ金銀各一百匁以上トス

第六條 精製ノ爲メ輸納シタル地金ノ品位證明ヲ請ヒ又ハ其ノ金分ヲ以テ貨幣ノ製造ヲ請ハントスル者ハ輸納ノ際其ノ旨申告スヘシ

第七條 輸納シタル地金試験ノ後精製又ハ品位證明ヲ爲サスシテ返付ヲ要スルトキハ手数料トシテ地金一塊毎ニ金二圓ヲ徵收ス

第八條 輸納地金ノ銓解減ハ輸納人ノ負擔トス

第九條 輸納地金ノ品位證明ヲ爲シタルトキハ手数料トシテ金ハ四貫匁又ハ其ノ端數毎ニ銀ハ八貫匁又ハ其ノ端數毎ニ各金二圓ヲ徵收ス（三十二年勅令第三十七號ヲ以テ改正）

第十條 輸納地金ノ精製ヲ爲シタルトキハ左ノ割合ニ依リ手数料ヲ徵收ス（三十七年勅令第百號ヲ以テ改正）

一千分中金銀九百五十以上	純金一百匁ニ付金七十六錢
同上	純銀一百匁ニ付金二十錢
一千分中金銀九百以上	同上
同上	金八十三錢
同上	金二十三錢
一千分中金銀八百五十以上	同上
同上	金九十一錢
同上	金二十七錢
一千分中金銀八百以上	同上
同上	金一圓
同上	金三十二錢
同上	金三十二錢

第二類 金銀地金精製及品位證明規則

七百九十三

一千中金額七百五十以上	純銀一百匁ニ付	七百九十四
同上	同上	金一圓十錢
一千分中金銀七百以上	同上	金三十八錢
同上	同上	金一圓三十錢
一千分中金銀六百五十以上	同上	金四十四錢
同上	同上	金一圓三十錢
同上	同上	金五十一錢
一千分中金銀六百以上	同上	金一圓四十錢
同上	同上	金五十八錢
一千分中金銀五百五十以上	同上	金一圓五十錢
同上	同上	金六十六錢
一千分中金銀五百以上	同上	金一圓六十錢
同上	同上	金七十四錢

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

● 度量衡

● 度量衡法

(明治二十四年三月二十三日) 法律 第三十三號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル度量衡法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

度量衡法

- 第一條 度量ハ尺、衡ハ貫ヲ以テ基本トス
- 第二條 度量衡ノ原器ハ白金「イリヂウム」合金製ノ棒及分銅トス其ノ棒ノ面ニ記シタル標線間ノ攝氏〇、一五度ニ於ケル長サ三十三分ノ十ヲ尺トシ分銅ノ質量四分ノ十五ヲ貫トス
- 第三條 度量衡ノ名稱命位ヲ定ムルコト左ノ如シ

度

毛尺ノ萬分ノ一

第二類 度量衡法

厘尺ノ百分ノ一

分尺ノ百分ノ一

寸尺ノ十分ノ一

尺

丈十尺

間六尺

町三百六十尺(六十間)

里一萬二千九百六十尺(三十六町)

地積

勺歩ノ百分ノ一

合歩ノ十分ノ一

歩或ハ坪六尺平方

畝三十歩

段三百歩

町三千歩

量

勺升ノ百分ノ一

合升ノ十分ノ一

升六萬四千八百二十七立方分

斗十升

石百升

衡

毛貫ノ百萬分ノ一

厘貫ノ十萬分ノ一

分貫ノ萬分ノ一

忽貫ノ千分ノ一

第二類 度量衡法



段	町	量	勺	合	升	斗	石
九、九一七三六 (三千〇二五五分ノ三萬)	九、九一七三五五 (三千〇二五五分ノ三十萬)	〇、〇一八〇四 (十三萬三千一百分ノ)	〇、〇一八〇三九 (十三萬三千一百分ノ)	一、八〇三九一 (十三萬三千一百分ノ)	一、八〇三九〇七 (十三萬三千一百分ノ)	一、八〇三九〇七 (十三萬三千一百分ノ)	一、八〇三九〇七 (十三萬三千一百分ノ)

「センチリ ツトル」	「デシリ ツトル」	「リツトル」	「デカリ ツトル」	「ヘクト リツトル」
〇、〇〇五五四 (二十四萬〇一百分ノ)	〇、〇〇五五四 (二十四萬〇一百分ノ)	〇、〇〇五五四 (二十四萬〇一百分ノ)	〇、〇〇五五四 (二十四萬〇一百分ノ)	〇、〇〇五五四 (二十四萬〇一百分ノ)

衡	毛	厘	分	忽	貫	斤
〇、〇〇三七五 (三、七五〇〇〇)	〇、〇三七五〇 (三、七五〇〇〇)	〇、三七五〇〇 (三、七五〇〇〇)	〇、三七五〇〇 (三、七五〇〇〇)	三、七五〇〇〇 (三、七五〇〇〇)	三、七五〇〇〇 (三、七五〇〇〇)	六〇〇、〇〇〇〇〇

「ミリ グラム」	「センチ グラム」	「デシ グラム」	「ヘクト グラム」	「キログ ラム」
〇、〇〇二七 (一、〇〇〇)	〇、〇二七 (一、〇〇〇)	〇、二七 (一、〇〇〇)	二、七 (一、〇〇〇)	二、七 (一、〇〇〇)

第六條 度量衡ノ原器ハ農商務大臣之ヲ保管ス  
農商務大臣ハ度量衡ノ原器ニ依リ副原器ニ組テ製作セシメ原器ノ代用ニ供ス

第二類 度量衡法

副原器ノ一組ハ農商務大臣之ヲ保管シ他ノ一組ハ文部大臣之ヲ保管ス

第七條 農商務大臣ハ副原器ニ依リ檢定原器ヲ製作セシメ度量衡器檢定ノ標準ニ供ス(二十六年法律第四號ヲ以テ改正)

第八條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ若ハ販賣セント欲スル者ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ願出免許ヲ受クヘシ

製作ノ免許ヲ得タル者ハ修覆及販賣ヲナスコトヲ得  
免許ニ關スル年限、身元保證金其ノ他必要ナル制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ若ハ輸入シテ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用スル者ハ豫メ其ノ檢定ヲ受クヘシ

營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ハ前項檢定ノ外之ヲ修覆シタルトキ檢定ヲ受クヘシ(同上ヲ以テ本項中削除)

官廳、公署、官立、公立ノ諸建設場又ハ貧院、病院其ノ他之ニ類スル建設場

ニ於テ賣買、授受及證明ノ爲メニ使用スル度量衡器ハ營業ノ目的ニ使用スルモノニ準ス

第十條 度量衡器ノ種類、形狀、物質、公差及使用ノ制限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(同上ヲ以テ改正)

第十一條 度量衡器ノ檢定、取締及臨檢ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(同上)

第十二條 度量衡器ノ製作者、修覆者、販賣者及使用者ハ當該官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス但シ官吏ハ主任タルノ證票ヲ携帯シテ之ヲ示スヘシ(同上ヲ以テ條中改正)

當該官吏臨檢ノ際度量衡ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ其ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

第十三條 度量衡器ノ製作、修覆及販賣ノ免許ヲ受クル者ハ免許料ヲ、檢定ヲ受クル者ハ檢定料ヲ納ムヘシ

第二類 度量衡法

免許料及檢定料ノ金額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 度量衡器ノ製作者、修覆者若ハ販賣者ニシテ度量衡ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキハ農商務大臣ハ其ノ營業免許ヲ取消スコトヲ得

第十五條 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ノ製作又ハ修覆ノ業ヲ營ミタル者ハ二十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス(同上ヲ以テ全條改正)

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 免許ヲ受ケスシテ度量衡器ヲ販賣シタル者
- 二 檢定ヲ受ケス若ハ檢定ノ效力ヲ失ヒタル度量衡器ヲ販賣シ又ハ之ヲ營業ノ目的ニ使用シタル者
- 三 差狂アル度量衡器ナルコトヲ知テ之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用シタル者
- 四 官吏ノ臨檢又ハ差押ヲ拒ミタル者

第十六條 本法施行ノ細則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附則

第十七條 本法ハ明治二十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條 度量衡器ノ製作ニ限り本法施行前六箇月以内ニ之ヲ免許スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ本法中製作ニ關スル條項ハ之ヲ適用ス

第十九條 從來度量衡製作及賣捌ノ免許ヲ受ケタル者ハ更ニ免許ヲ受クルコトヲ要セス本法ノ規定ニ從ヒ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

第二十條 從來ノ度量衡器ハ本法施行ノ日ヨリ七箇年以内ニ本法ノ規定ニ依リ其ノ檢定ヲ受クヘシ檢定ヲ經サルモノハ其ノ期限ヲ過クル後之ヲ販賣シ若ハ營業ノ目的ニ使用スルコトヲ得ス

第二十一條 從來ノ度量衡器ニシテ修覆シタルモノノ檢定ハ本法施行ノ日ヨリ七箇年ヲ限り從來ノ檢査規則ニ依ル

第二十二條 明治八年太政官第百三十五號達度量衡取締條例並檢査規則同九年第十七號布告度量衡改定規則及西洋形權衡ニ係ル從來ノ法令ハ本法施行ノ日

第二類 度量衡法



ヨリ之ヲ廢止ス但シ度量衡取締條例附屬検査規則ハ前條ノ場合ニ限り明治三十三年十二月三十一日マテ其ノ效力ヲ有ス

●度量衡法施行令 (明治三十六年九月十九日勅令第四百四十四號)

朕度量衡法施行令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

度量衡法施行令

第一條 度量衡器ノ種類、形狀及物質ヲ定ムルコト左ノ如シ

直 形	形 狀	物 質	種 類
骨、竹、木	金屬、象牙、		直 尺
十二尺以下			鯨尺三尺以下
			四「メートル」以下

直 角 形	金 屬	曲	
		尺	尺
長枝三尺以下		一「メートル」以下	
連 接 直 形	金屬、象牙、骨、竹、木	疊	尺
十五尺以下		鯨尺三尺以下	五「メートル」以下
細 帶 狀	金屬、革、麻	卷	尺
三百六十尺以下		鯨尺六尺以下	百「メートル」以下
鏈 狀	金 屬	鏈	尺
六十尺以下			二十「メートル」以下

第二類 度量衡法施行令

第二類 度量衡法施行令

衡器	及圓 板形 狀形	形狀 物質	斗			及 圓錐形	
			形	方	圓錐形	圓錐形	圓錐形
木材	小 (二合五勺以下又ハ五勺以下又) 中 (二升以下又ハ五升以下又) 大 (一斗以下又ハ二斗以下又)	種	二升	五合	五勺	五合	一合
			五升	五合	一合	一升	二合
斗		類	二升	五合	五勺	五合	一合

圓錐形	圓錐形								形狀 物質
	檜、銀杏、松		檜、銀杏、松		屬		金		
玻	二斗	二升	五合	五勺	五升	五合	一合	一勺	種
一斗	二升	五合	五勺	五升	五合	一合	一勺	二勺	
一斗	二升	五合	五勺	五升	五合	一合	一勺	二勺	類
一斗	二升	五合	五勺	五升	五合	一合	一勺	二勺	
一斗	二升	五合	五勺	五升	五合	一合	一勺	二勺	



金属製度量器		目盛ノ公差		全長ノ公差		目盛ノ公差	
全長ノ公差	公差	目盛ノ公差	公差	全長ノ公差	公差	目盛ノ公差	公差
一尺未満	〇・五	五厘未満	十分ノ	五「デシメートル」未満	〇・三	「ミリメートル」未満	十分ノ
二尺未満	一・〇	五厘	〇・五	一「メートル」以下	〇・三	「ミリメートル」以上	〇・二
五尺未満	一・五	一分以上	一・〇	二「メートル」以下	〇・七	「ミリメートル」以上	〇・五
十二尺以下	五・〇	五分以上	一・五	五「メートル」以下	二・五	一「センチメートル」以上	一・〇
十八尺以下	一〇・〇	一寸以上	二・〇	十「メートル」未満	五・〇	五「センチメートル」以上	二・〇
三十尺未満	二〇・〇	五寸以上	五・〇	十「メートル」以上	十・〇	「デシメートル」以上	三・〇
三十尺以上	全長ノ千分ノ	一尺以上	一〇・〇	鯨尺六尺以下	全長ノ千分ノ	「デシメートル」以上	五・〇

半間以上 一五・〇

鯨尺五寸以下 十分ノ

竹、木、骨、象牙製度量器

全長ノ公差		目盛ノ公差		全長ノ公差		目盛ノ公差	
全長ノ公差	公差	目盛ノ公差	公差	全長ノ公差	公差	目盛ノ公差	公差
一尺未満	一・〇	五厘未満	十分ノ	五「デシメートル」未満	〇・三	「ミリメートル」未満	十分ノ
二尺未満	一・五	五厘	〇・五	一「メートル」以下	〇・五	「ミリメートル」以上	〇・二
五尺未満	三・〇	一分以上	一・〇	二「メートル」以下	一・五	「ミリメートル」以上	〇・八
十二尺以下	五・〇	五分以上	二・〇	五「メートル」以下	三・〇	「センチメートル」以上	一・五
十五尺以下	一〇・〇	一寸以上	三・〇	鯨尺三尺以上	全長ノ千分ノ	鯨尺二寸以下	十分ノ

革、麻製度量器

第二類 度量衡法施行令

六十尺以下	三十尺以下	十八尺以下	十二尺以下	十尺以下	六尺以下	三尺以下	全長	全長ノ公差
一一五	六〇	四〇	三〇	二五	二〇	一〇 <sub>厘</sub>	全長公差	全長ノ公差
以上一寸	以上五分	以上一分	五分	五分	五分	五分	目盛ノ公差	目盛ノ公差
六	四	二	一	一	一	一	全長公差	全長ノ公差
二十 <sub>リ</sub> 以下	十 <sub>リ</sub> 以下	五 <sub>リ</sub> 以下	二 <sub>リ</sub> 以下	一 <sub>リ</sub> 以下	一 <sub>リ</sub> 以下	一 <sub>リ</sub> 以下	全長公差	全長ノ公差
三五	二〇	一一	七	三	三	三	目盛ノ公差	目盛ノ公差
一 <sub>ト</sub> 以上	五 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	目盛ノ公差	目盛ノ公差
二〇	一〇	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	〇・三	目盛ノ公差	目盛ノ公差

第二類 度量衡法施行令

六十六尺以下	九十尺以下	百尺以下	百二十尺以下	百五十尺以下	三百尺以下	三百六十尺以下	全量ノ公差	目盛ノ公差
一一〇	一六〇	一八〇	二四〇	三〇〇	五〇〇	六〇〇	全量ノ公差	目盛ノ公差
以上五寸	以上一尺	以上一尺	以上半間	以上半間	以上一間	以上一間	目盛ノ公差	目盛ノ公差
一〇	二〇	二〇	四〇	四〇	六〇	六〇	全長ノ公差	全長ノ公差
三十 <sub>リ</sub> 以下	四十 <sub>リ</sub> 以下	五十 <sub>リ</sub> 以下	百 <sub>リ</sub> 以下	百 <sub>リ</sub> 以下	百 <sub>リ</sub> 以下	百 <sub>リ</sub> 以下	全長ノ公差	全長ノ公差
五五	七五	一〇〇	一五〇	一五〇	一五〇	一五〇	目盛ノ公差	目盛ノ公差
五 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	一 <sub>ト</sub> 以上	五 <sub>ト</sub> 以上	五 <sub>ト</sub> 以上	五 <sub>ト</sub> 以上	五 <sub>ト</sub> 以上	目盛ノ公差	目盛ノ公差
四〇	六〇	六〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	目盛ノ公差	目盛ノ公差

衡器		全量	公差	目盛	公差
一合以下又ハ二「リットル」以下	一合以下又ハ二「リットル」以下	全量ノ百分ノ一		一「勺」ノ十分ノ一以下又ハ一「センチリットル」ノ十分ノ一以下	其ノ容量ノ二十分ノ一
二升以下又ハ五「リットル」以下	二升以下又ハ五「リットル」以下	全量ノ百五十分ノ一		一「勺」以下又ハ一「センチリットル」以下	其ノ容量ノ五十分ノ一
三斗以下又ハ二十「リットル」以下	三斗以下又ハ二十「リットル」以下	全量ノ二百分ノ一		一合以下又ハ二「リットル」以下	其ノ容量ノ百分ノ一
一厘以下	一厘以下	〇・一モ		一「センチグラム」以下	〇・一
二厘	二厘	〇・二		一「センチグラム」	〇・二

分量	公差	重量	公差
五厘	〇・三	五「センチグラム」	〇・三
一分	〇・五	一「デシグラム」	〇・五
二分	一・〇	二「デシグラム」	一・〇
五分	一・〇	五「デシグラム」	一・〇
一匁	二・〇	一「グラム」	二・〇
二匁	三・〇	二「グラム」	三・〇
五匁	五・〇	五「グラム」	五・〇
十匁	一〇・〇	十「グラム」	一〇・〇
二十匁	一五・〇	二十「グラム」	一五・〇
		五十「グラム」	二五・〇

第二類 度量衡法施行令

八百十七

五十匁	二五・〇	百「グラム」	五〇・〇
百匁	五〇・〇	二百「グラム」	六五・〇
二百匁	六五・〇	五百「グラム」	一二〇・〇
五百匁	一二〇・〇	一「キログラム」	二五〇・〇
一貫	二五〇・〇	二「キログラム」	四〇〇・〇
二貫	四〇〇・〇	五「キログラム」	「グラム」 一
五貫		十「キログラム」	二
		二十「キログラム」	三
秤ノ目盛ノ公差			
一度目ノ表ハス重量ノ二分ノ一			

第三條 度量衡器ノ物質又ハ構造ニ因ル必要ナル使用ノ制限ハ農商務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四條 度量衡器ノ檢定ハ甲乙ノ二種トス

甲種檢定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ニ付農商務大臣之ヲ行フ

一五厘未滿又ハ一「ミリメートル」未滿ノ目盛アル度量器

一一分ノ五分ノ一以下又ハ一「センチリットル」ノ五分ノ一以下ノ目盛アル

量器

一感量一毛未滿又ハ五「ミリグラム」未滿ノ天秤

一一分未滿又ハ一「センチグラム」未滿ノ分銅及之ヲ含メル組分銅

乙種檢定ハ前項ニ該當セサル度量衡器ニ付地方長官之ヲ行フ

第五條 度量衡器ノ取締及臨檢ハ地方長官之ヲ行フ

地方長官ハ市長、町村長及之ニ準スヘキ者ヲシテ度量衡器ノ取締ヲ行ハシムルコトヲ得

第二類 度量衡法施行令

第六條 營業ノ目的ニ使用スル度量衡器ノ臨檢ハ毎年一回以上之ヲ行フ

第七條 度量衡器ニシテ第一條及第二條ノ規定ニ適合シ農商務大臣ノ定ムル構造ヲ具備スルモノハ合格トス

第八條 檢定ニ於テ合格シタル度量衡器ニハ檢定證印ヲ附スヘシ

檢定證印アル度量衡器ニシテ檢定又ハ臨檢ニ於テ合格セサルモノアルトキハ之ニ檢定消印ヲ附シ又ハ檢定證印ヲ抹消スヘシ

第九條 地方長官必要ト認ムルトキハ營業ノ目的ニ使用スル甲種檢定ヲ受ケタル度量衡器ノ所有者又ハ管理者ニ對シ檢定ノ爲行政廳ニ其ノ度量衡器ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第十條 檢定ヲ受ケタル度量衡器ニシテ檢定消印ヲ附セラレタルモノ、檢定證印ヲ抹消セラレ若ハ其ノ識別シ難キニ至リタルモノ又ハ修覆若ハ加工シタルモノハ檢定ノ效力ヲ失フ但シ度量衡法第九條第三項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 度量衡器ノ檢定ヲ請求スルモノハ左ノ檢定料ヲ納ムヘシ

二段以上目盛シタルモノニ付テハ一段ニ檢定料ヲ納ムヘシ

度		種類	檢定料	
直尺	曲リ尺		金屬製ノモノ	竹、木、骨、象牙、革、麻製ノモノ
一尺以下又ハ鯨尺一尺以下		一・〇	〇・五	
二尺以下又ハ鯨尺二尺以下		二・〇	一・〇	
又ハ五「メートル」以下		四・〇	二・〇	
三尺以下又ハ鯨尺三尺以下		八・〇	四・〇	
又ハ一「メートル」以下		一二・〇	六・〇	
十尺以下又ハ鯨尺六尺以下		二〇・〇	一〇・〇	
又ハ三「メートル」以下		四〇・〇	二〇・〇	
二十尺以下又ハ六「メートル」以下				
三十尺以下又ハ十「メートル」以下				
六十尺以下又ハ二十「メートル」以下				

第二類 度量衡法施行令



器		量	
卷尺	鏈尺	秤	斗
百尺以下又ハ三十「メートル」以下	各種	種 二合五勺以下又ハ五「デシリットル」以下	各種
百八十尺以下又ハ五十「メートル」以下	革、麻製ノモノニ同シ	二升以下又ハ五「リットル」以下	三斗以下
三百六十尺以下又ハ百「メートル」以下		一斗以下又ハ二十「リットル」以下	一斗以下
五〇・〇		一〇・〇	〇・五
二五・〇		二・〇	二〇・〇
八〇・〇		四・〇	
四〇・〇		一・〇	
七五・〇			

五厘未満又ハ一「ミリメートル」未満ノ目盛アルモノハ以上檢定料ノ外其ノ部ニ付又五寸又ハ一「デシメートル」迄毎ニ金五錢ヲ加フ  
 金屬、鐵葉、除ク檜、樺、銀杏、姫子及玻璃製ノモノノ松及製葉鐵ノモノ

衡		器	
臺秤	天秤	斗	概
秤量五十貫以下又ハ二百「キログラム」以下	秤量ノ一万分ノ一以下ノ量ヲ感スルモノ	各種	三斗以下
秤量百五十貫以下又ハ五百「キログラム」以下	秤量ノ五千分ノ一以下ノ量ヲ感スルモノ	種	一斗以下
	其ノ他ノモノ	類	一〇〇・〇
			五〇・〇
			二〇・〇
			一〇〇・〇

一勺ノ五分ノ一以下又ハ一「センチリットル」ノ五分ノ一以下ノ目盛アル量器ハ以上檢定料ノ外其ノ部ニ付一斗又ハ一「センチリットル」迄毎ニ金二錢ヲ加フ

器	分銅	秤		秤量二貫以下又ハ七「キロ グラム」以下	秤量一貫以下又ハ三十五 「キログラム」以下	秤量三十貫以下又ハ百「キ ログラム」以下	以上十貫又ハ三十「キロ グラム」迄ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ加フ	五百匁以下又ハ一「キロ グラム」以下	一貫以上又ハ二「キロ グラム」以上一箇	壺秤及桿秤ノ錘又ハ増錘ノミ ノ檢定ヲ受クル場合ニハ其ノ檢定料ハ 一箇ニ付金五錢トス	増錘ヲ有スル モノ	増錘ナキモノ
		一五・〇	八・〇								二〇・〇	一〇・〇

以上百貫又ハ三百「キログラム」迄ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ加フ

第十二條 度量衡器ヲ製作シ修覆シ又ハ販賣セムトスル者ハ度量器、量器又ハ衡器ニ付各別ニ營業所一箇所毎ニ免許ヲ受ケヘシ

第十三條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許年限ハ十五箇年トス

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ度量衡器ノ製作者、修覆者又ハ販賣者タルゴトヲ得ス

- 一 剝奪公權者
- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレ赦免又ハ滿期後三箇年ヲ經サル者
- 一 度量衡法第十四條ノ處分ヲ受ケ爾後三箇年ヲ經サル者
- 一 家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキヨリ復權ノ決定確定ニ至ル迄ノ者

第十五條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受クル者ハ左ノ免許料ヲ納ムヘシ

度量器、量器又ハ衡器ノ製作

金十五圓

第二類 度量衡法施行令

八百二十五

度器、量器又ハ衡器ノ修覆

金十二圓

度器、量器又ハ衡器ノ販賣

金五圓

第十六條 檢定料及免許料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

第十七條 度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受クル者ハ左ノ身元保證金

ヲ納ムヘシ

度器製作

金三百圓

量器製作

金三百圓

衡器製作

金五百圓(桿秤ノミノ製作ハ金三百圓)

度量衡器修覆

金二百圓

度量衡器販賣

金百圓

前項ノ身元保證金ハ農商務大臣ノ指定スル有價證券ヲ以テ之ヲ納ムルコトヲ得

附則

第十八條 本令ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年勅令第百十六號ハ之ヲ廢止ス

第十九條 明治三十年勅令第百十六號ニ依ル度量衡器ノ檢定及製作、修覆又ハ

販賣ノ免許ハ本令施行後仍其ノ效力ヲ有ス

第二十條 本令施行前檢定ヲ受ケタル度量衡器ノ形狀、物質、檢定スヘキ最小定

限及公差ニ付テハ明治四十一年十二月三十一日迄明治三十年勅令第百十六號

ノ規定ヲ適用ス但シ左ノ度量衡器ハ更ニ本令ニ依リ檢定ヲ受クルニ非サレハ

此ノ期限ヲ過クルノ後之ヲ販賣シ又ハ營業ノ目的ニ使用スルコトヲ得ス

五厘未満又ハ一「ミリメートル」未満ノ目盛アル度器

全量ノ十分ノ一未満ノ目盛アル量器

五毛以下又ハ五「ミリグラム」以下ノ分銅

第二十一條 本令施行前證書ヲ附シタル度量衡器ノ檢定ノ證明ニ付テハ農商務

大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二類 度量衡法施行令

第二十二條 本令施行前檢定ヲ受ケタル度量衡器ニ付シタル證書ニ關シテハ本令中證印ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ證書ヲ紛失シタルモノハ檢定ノ效力ヲ失フ

● 度量衡法施行細則 (明治三十六年十二月四日) (農商務省令第十號)

度量衡法施行細則左ノ通相定ム

度量衡法施行細則

第一章 構造及使用ノ制限

第一條 度器ノ全長ト稱スルハ其ノ目盛ノ各段ニ付度リ得ヘキ最大長、枴ノ全量ト稱スルハ其ノ量リ得ヘキ最大容量、秤ノ秤量ト稱スルハ天秤、臺秤及桿秤ノ秤リ得ヘキ最大重量、桿秤ノ掛量ト稱スルハ秤量ヲ秤ルニ用井サル支點ニ於テ秤リ得ヘキ最大重量、增錘ノ掛量ト稱スルハ各增錘ヲ以テ秤リ得ヘキ重量ヲ云フ

第二條 度器及枴ノ目盛ハ度及量ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ十分ノ一若ハ百分ノ一トナスヘシ

秤ノ目盛ハ衡ノ名稱ノ一倍、二倍、五倍又ハ其ノ倍數ノ十分ノ一、十倍若ハ百倍トナスヘシ但シ斤ノ名稱ニ依ルモノハ其ノ四分ノ一又ハ八分ノ一トナスコトヲ得

第三條 度量衡器ニハ前條ノ規定ニ依ラサル目盛又ハ之ニ類似スル標識ヲ附スルコトヲ得ス但シ曲リ尺ノ裏目及天秤ノ度表ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 度量衡器ニ表記スヘキ度量衡ノ名稱ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ略字ヲ用井ルコトヲ得

名	稱	略	字
ミリメートル		糎又ハ	MM
センチメートル		糎又ハ	CM

第二類 度量衡法施行細則